



わたしの青少年赤十字

詩・一〇〇文字提案

作品集

はじめに

青少年赤十字の大きな特色は、学校教育の中で組織された先生方の適切な指導のもと実践されてきていることです。

日本赤十字社福島県支部は、各学校が青少年赤十字を通して人間尊重の精神を学び、充実した学校教育を推進していくための方法として、より積極的に青少年赤十字活動を推進してほしいと願っています。

このような考えをふまえ、福島県支部では、本年度も県内加盟校を対象に、児童生徒の作品を募集いたしました。このたび、選考された作品をまとめ、作品集として刊行する運びとなりました。子どもたちの生き生きとした姿をお読みください。

募 集 作 品

□詩（いのちの詩、愛の詩）

三月の東日本大震災では、多くの方々が犠牲になってしまいました。中には、皆さんと同じ小中学生や高校生、自分の家族そして先生方も命をおとされました。そのような中で、皆さんはあらためて「いのち」「愛」について見つめなおす機会になったのではないのでしょうか。このように、「命」「愛」について、見つめなおしたり、日頃考えたりしていることなどを「詩」などに表現してほしいと願い、作品を募集いたしました。

□わたしの○○文字提案

次のテーマから選んで、自分の考えを端的に表現した作品を募集しました。

「あたたかい言葉のプレゼント」

「わたしのチョボラ」

「○○さんのすばらしいところ」

「私の気づき」

これらの課題について、児童生徒の皆さんのユニークな考えや想いを表現してほしいと願い、作品を募集いたしました。

はじめに・募集作品

目次

詩「いのちの詩」「愛の詩」

最優秀……………7

優秀……………11

佳作……………15

入選……………24

一〇〇文字提案

「あたたかい言葉のプレゼント」

最優秀……………31

優秀……………33

佳作……………36

入選……………41

一〇〇文字提案

「わたしのチョボラ」

最優秀……………47

優秀……………48

佳作……………52

入選……………62

一〇〇文字提案

「〇〇さんのすばらしいところ」

最優秀……………69

優秀……………71

佳作……………76

入選……………83

一〇〇文字提案

「私の気づき」

最優秀……………87

優秀……………87

佳作……………88

入選……………88

応募校一覧……………89

作品審査を終えて……………90

詩
「いのちの詩」
「愛の詩」

「いのちの詩・愛の詩」

最優秀・優秀・佳作 受賞者一覧

最優秀

白河市立表郷小学校

四年 大久保雄飛

須賀川市立大東小学校

六年 吉田 愛実

郡山市立片平小学校

六年 鈴木 美咲

郡山市立安積第三小学校

六年 金森 早香

六年 安部 遥香

新地町立福田小学校

一年 五十嵐美結

福島市立福島第一小学校

一年 斎藤 飛来

喜多方市立第一小学校

五年 山田 洋子

郡山市立桃見台小学校

一年 橋本リンダ

福島市立福島第二中学校

一年 齋藤 星斗

二年 鈴木 理央

いわき市立磐崎中学校

一年 樋田 美貴

一年 藤島 花

優秀

桜の聖母学院小学校

五年 吾妻 直樹

六年 餅田 千夏

六年 中島 真梨

玉川村立川辺小学校

六年 味原 圭汰

白河市立表郷小学校

四年 橋本 康太

須賀川市立白方小学校

五年 小林 紫野

二本松市立原瀬小学校

二年 味原 光

二年 近藤 公平

二本松市立二本松南小学校

四年 大和田佳希

新地町立福田小学校

一年 谷 幸人

福島市立福島第一小学校

四年 常盤 瞭

鏡石町立第二小学校

一年 藁谷 宏紀

二年 高島 茉莉

四年 添田 隼杜

喜多方市立第一小学校

五年 渡部 愛衣

六年 小荒井 輝

六年 田中 啓介

六年 山田 幸輝

六年 岩橋 千聖

郡山市立桃見台小学校

五年 岡崎 希

須賀川市立柏城小学校

二年 石橋 龍弥

三年 小森 直幸

四年 大槻 真凜

福島市立福島第二中学校

一年 小森谷京花

三年 金澤 優

三年 鈴木 滯

三年 菅野 真由

喜多方市立第二中学校

三年 庄司 亜紀

福島市立福島第一中学校

一年 日下部文哉

福島市立蓬萊中学校

三年 大内 詩子

下郷町立下郷中学校

三年 玉川 英美

いわき市立磐崎中学校

一年 熊谷 将吾

二年 蛭田 海純

二年 千葉あすか

佳作

桜の聖母学院小学校

一年 中尾 香音

二年 鈴木 萌夏

三年 中尾 航

三年 安部 陸来

四年 鈴木 真宝

須賀川市立小塩江小学校

五年 相樂明日香

六年 吉田 有香

六年 佐久間 萌

矢祭町立下関河内小学校

一年 寺島 舞姫

六年 藤田 爽馬

玉川村立川辺小学校

四年 坂本 敬大

矢吹町立三神小学校

六年 内藤 江美

六年 蛭田 湧人

六年 円谷 清矢

下郷町立江川小学校

六年 五十嵐隆徳

六年 五十嵐真優

須賀川市立大東小学校

六年 草野 楓

六年 草野 遥己

六年 吉田 凜

伊達市立掛田小学校

四年 大江 妃

六年 岡澤 拳太

矢祭町立関岡小学校

五年 小林龍ノ介

須賀川市立白方小学校

五年 安藤 真央

五年 小河原 聡

六年 富田みさと

二本松市立原瀬小学校

二年 石川和加奈

二年 黒澤 耀

郡山市立安積第三小学校

五年 高比良 碧

五年 関根 志織

五年 水野 夏希

六年 柳沼 翔香

新地町立福田小学校

一年 小賀坂美雪

一年 杉江 莉緒

郡山市立桃見台小学校
一年 高田 大雅

二年 渡辺 成也

郡山市立日和田小学校

六年 渡部 桃花

一年 関根 果歩

福島県立遠葉中学校
一年 知野 哲也

六年 鈴木 里彩

五年 佐藤 楓

二年 山岸 未来

六年 高野 美悠

六年 下條 海風

二年 渡辺 玲奈

六年 畠 颯汰

須賀川市立柏城小学校

いわき市立磐崎中学校

福島県立福島第一小学校

一年 佐藤美佳子

二年 柴原奈々果

一年 犬塚友佳子

二年 高橋 春風

三年 加藤 万尋

二年 吉田 龍人

三年 植田 達也

四年 春山 理菜

二年 大岡 佳那

四年 三瓶 寧々

四年 黒津ひなた

福島県立須賀川高等学校
三年 二瓶 栞

鏡石町立第二小学校

一年 大河原悠人

一年 鈴木 友梨

二年 赤塚 勇希

一年 嶋田 怜

二年 会田 彩

一年 米村あかり

三年 根本 咲良

二年 齋藤まりる

四年 根本 珠璃

三年 先崎 亮一

喜多方市立第一小学校

五年 田澤ももか

いわき市立内郷第三中学校
一年 小野志穂美

六年 樋口 博

会津若松市立小金井小学校

五年 渡邊 烈都

二年 佐藤 優衣

五年 小原 真優

二年 阿部満里奈

五年 齋藤 未優

二年 澁谷 良平

六年 小勝 勇武

二年 西坂 彩

「いのちの詩・愛の詩」最優秀

白河市立表郷小学校 四年 大久保雄飛

戦争に行つて戦つて、生きて帰つた
ひいじいちゃんはおくのはこり。大事
な命をおみやげに。ばあちゃんと、お
母さんが生まれて、ぼくが生まれた。

命のリレー。いつかぼくも、つなぐよ。
命のバトン。

須賀川市立大東小学校 六年 吉田 愛実

青い空
白い雲
小鳥のさえずり
ゆれる草花
川のせせらぎ
さわやかな風

太陽の光

全ての自然を感じれる

それが

今、生きている証拠

郡山市立片平小学校 六年 鈴木 美咲

お母さんの手は、
すばらしい。

大じしんがきた時、

私の手を

ぎゅっとつないでくれた。

その手は、あたたかくて、

不安な気持ち

いっきに消えた。

郡山市立安積第三小学校 六年 金森 早香

動物が地面に

実を埋めた

それが木になり

木から実が落ち

林になった

たくさんの木から

実がおち

森になった。

動物は 森の

お母さんになった

郡山市立安積第三小学校 六年 安部 遥香

原発事故の

風ひょう被害

安全かもしれない

野菜も果物も

すべて捨てられる

今まで生きてきた

野菜や果物の命

何も悪いこと

していないのに

だれも悪くないのに

新地町立福田小学校 一年 五十嵐美結

みつけたよ
たんぽにおふね
みつけたよ
たんぽにくるま
あつというまに
よんかげつ
みつけたよ
たんぽにひまわり
つなみにまけずに
さいている。

福島市立福島第一小学校 一年 斎藤 飛来

まいとしくるたんじょうび。
いつもちがうプレゼントをもらうけど、

一ばんさいしょのプレゼントは、パパやママがいっしょうけんめいかんがえてくれた、

せかいにたった一つのわたしのなまえ

喜多方市立第一小学校 五年 山田 洋子

動物たちは生きのびる為、人間は欲のために争っている。そしてその人間の欲望が集まったのが戦争である。それは人間や動物達の命が失われるだけではなくこの地球も壊してしまう。そしてそれをとめるのも人間である。

郡山市立桃見台小学校 一年 橋本リンダ

おかあさんは、ははのひがすき。おとうさんは、ちちのひがすき。

おかあさんは、こどもからかんしゃのことばをもらえるひだからすき。おとうさんは、てがみをもらえるからこのひがすき。わたしは、どっちのひもすき。

郡山市立桃見台小学校 一年 橋本リンダ

いぬにもこころときもちがあるんだよ。どうぶつぜんぶにあるんだよ。にんげんだってあるんだよ。

どうぶつは、なきごえできもちやこころをつたえます。にんげんは、ことばやえがおでこころをつたえます。

福島市立福島第二中学校 一年 齋藤 星斗

私は、こわくなった。あの、震災が起ころ前私は、恐怖など、感じたこともなかったのに。震災が、起こった時、私は心配した。

それは、父や母のこと、親友や兄弟のこと、

そして、さまざまな人々の大切な命のことを

福島市立福島第二中学校 二年 鈴木 理央

うでの中の小さな命。ドクドクドクと、
小さな鼓動とぬくもりが、(身体のしん)
まで伝わってくる。忘れてはいけない。
その鼓動を。そのぬくもりを。生きて
いるということ。忘れてしまわない
ように、そっとだきしめていた。

いわき市立磐崎中学校 一年 樋田 美貴

皆で手をつなごう。

そして、おもいきり笑おう。

大変なことがおきたらくじけてたつて
しかたない。

もう一度、笑顔をつくって笑おう。

皆が笑顔でくらせる福島をとりもどそ
う！

いわき市立磐崎中学校 一年 藤島 花

似ているねって

よく言われる。

お父さんにそっくりね

お母さんにそっくりね

父と母は似てないのに

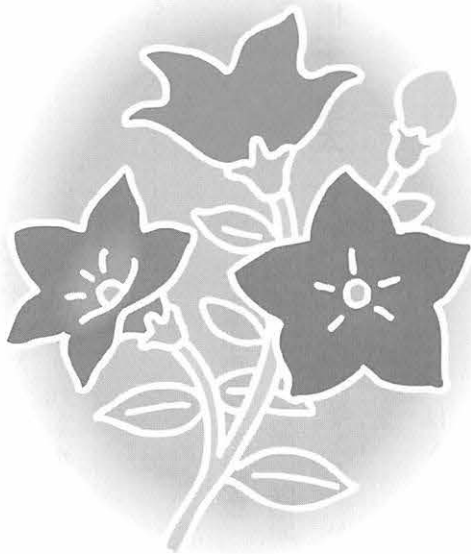
二人にそっくりなんて

とても不思議。

家族って不思議だな。

なんだか変な気持ち。

それがとてもうれしい。



「いのちの詩・愛の詩」優秀

桜の聖母学院小学校

五年 吾妻 直樹

人間は、かんたんには死なない
と 思 っ て い た の に。 震 災 の 夜、
沢 山 の 人 が 亡 く な っ た と 知 っ た
が 実 感 が な っ た。 親 せ き や 母
の 友 人 も、 亡 く な っ た。 ぼ く 達
は どう す る こ と も 出 来 な っ た。
そ の 時、 今 の と う と さ を 実 感 し
た。

桜の聖母学院小学校

六年 餅田 千夏

人 を 愛 す る に は、
ま ず 良 い 所 を
見 っ け な さ い。
人 を 愛 す る に は、
ま ず 悪 い 所 も
見 っ け な さ い。
人 を 愛 す る に は、
ま ず 「自 分」 の 事 か ら 愛 し な さ い。

桜の聖母学院小学校

六年 中島 真梨

誰 か に 愛 さ れ て
誰 か に 必 要 と さ れ て
命 が 生 ま れ る
不 安 で つ ぶ さ れ そ う で
こ わ く て 悲 し い 時
手 を さ し の べ て く れ る
友 達 が ほ し い と
思 っ て る そ ん な 子 に
手 を さ し の べ る
そ ん な 人 に な り た い

玉川村立川辺小学校

六年 味原 圭汰

三 月 十 一 日、 東 日 本 大 震 災 が
起 こ っ た。 震 災 が 起 こ っ た 時、
日 本 の 未 来、 だ い じ ょ う ぶ か と
思 っ た。 だ け ど、 今 で は 全 国 民
が 一 つ に な っ て、 た く さ ん の 命 を
守 ろ う と が ん ば っ て い る。 日 本 の

団 結 力 っ て、 す ぐ い と 思 っ た。

白河市立表郷小学校

四年 橋本 康太

い の ち が あ る か ら、
か ぜ を ひ く。
い の ち が あ る か ら、
生 き て い る。
い の ち が あ る か ら、
苦 し く な る。
い の ち が あ る か ら、
な み だ が で る。
い の ち が あ る か ら、
え が お に な れ る。

須賀川市立白方小学校

五年 小林 紫野

地 震 の 十 日 後 に、 ね こ の 赤 ち ゃ
ん が 生 ま れ た の。 初 め て 目 の 前
で 生 ま れ る の を 見 て、 ち ょ っ と

不 安 だ っ た。 で も ね、 見 て て ね、
親 も 子 も、 産 む の に、 生 ま れ る
の に が ん ば っ て た。
と て も う れ し か っ た。 私 は、
命 を 感 じ た。

二本松市立原瀬小学校

二年 味原 光

夜 お そ く、 お 母 さ ん が か え っ て
き た。
お 母 さ ん は、 ぼ く を 見 て 大 な き
し た。
つ な み で は し が わ れ た か ら か
え っ て こ れ な っ た ん だ。
お 母 さ ん に あ え て よ か っ た な。

二本松市立原瀬小学校

二年 近藤 公平

ミ ー ト マ ト が ふ っ か つ し た。 た
ね か ら そ だ て た ミ ー ト マ ト の く
き が お れ て し ま っ た。 ぼ く は と っ
て も か な し か っ た。 で も ぼ く は
水 を や り つ づ け た。 お れ た く き の
わ き か ら ま た く き が 生 え て き た。
今 で は、 花 の つ ぼ み が あ る。

二本松市立二本松南小学校

四年 大和田佳希

カメ太もいっしょ

ぜったいつれていく。

「え、つれてくの？」

とお母さん。

「もしものためだよ。」

カメ太も 一しよに

ひなん生活。

夏が来て、カメ太は、でかくなっ

た。

つれてきて、よかった。

福島市立福島第一小学校

四年 常盤 瞭

命は一つだけ

命はみんなが持っている

草も木も、虫も魚も人間も

今、命があぶない

人間が発明した原子力のため

だから、命を守るのは人間のせ

きにんだ。

鏡石町立第二小学校

二年 高島 茉莉

わたしが一さいになる前、お

かあさんがしんじやいました。

おかあさんに会いたいけれど、

会えない。わたしが知ってるお

かあさんのかおは、しゃしんのお

かおです。いつもわらいかけ

てくれるやさしいおかおです。

喜多方市立第一小学校

五年 渡部 愛衣

二〇一一年三月十一日は、わ

すれられない日になった。想像

もつかない地震がおきた。多く

の命が一瞬にして消えた。人は

死ぬとわかってはいるけど、命の

終わりはいつくるかわからない

ことがとてもこわくなった…。

鏡石町立第二小学校

一年 藁谷 宏紀

じしんはもういや。

つなみはこわい。

くるまがたんぼのなかにあった。

こうえんがなくなった。

ふねがどうろにあった。

ごみがたんぼにあった。

ぼくはいきている。

これからいきる。

げんきいっぱい。

鏡石町立第二小学校

四年 添田 隼杜

緑のいい香り。

自ぜんのはく息、

むねいっぱい、

すってみる。

もっともつと安心に

息ができる

未来にしたい。

ぼくは、

自然からの生命を

もらっている。

喜多方市立第一小学校

六年 小荒井 輝

おばあちゃんが手術をするた

めに入院した。

そんなに悪い病気じゃないと

いいな。

早く元気になるといいな。

苦手だけど願いをこめて、千

羽づるを折った。不格好だけど

ぼくの願いを届けてね。

新地町立福田小学校

一年 谷 幸人

ひなんしたやまがたからも

どってきた、ともだちはみんな

なまえをおぼえてくれていた。

うれしかった。そしてあんしん

した。しらないこもいてびっく

りしたけど、ともだちがふえた

ので、うれしかった。

喜多方市立第一小学校

六年 田中 啓介

地震と原発で福島は変わって

しまった。沢山の人達が命を亡くした。今も不自由な生活をしている人達がいる。でも僕は以前と同じ生活に戻れた。僕はすごく幸せだ。その事に感謝しながら精一杯生きていこうと思う。

喜多万市立第一小学校

六年 山田 幸輝

ある日一びきのスズメが道路に落ちていた。しばらく見ている…なにもしてあげられなかった。なんだか、苦しそうだった。命がだんだん消えていく…なんだか罪悪感を感じてくる。その時、自然と手を差しのべていた。

喜多万市立第一小学校

六年 岩橋 千聖

三月十一日
あの日、あの時から
苦しみが始まった
人々達
あの大震災で
生き方が変わった

命の大切さ
みんなの協力など
大切さを
あらためて知った。

須賀川市立柏城小学校

二年 石橋 龍弥

よる、ふとんの中で絵本を読んでもらう。おかあさんと、ときどきおうさんも、読んでくれる。そして、「生まれてきてくれて、ありがとう。」と言う。ぼくも、生んでくれてありがとう、しあわせな気もちになる。

須賀川市立柏城小学校

三年 小森 直幸

かわいいなあ
ママにもたれて
かわいいなあ
にこにこえがお
かわいいなあ
イタズラしても
かわいいなあ

とっておきにかわいい
ぼくの妹

須賀川市立柏城小学校

四年 大槻 真凜

アリを虫カゴに入れ、おばあちゃんとずっと見てたら、おばあちゃんが、すーっと庭を指した。「そうだね、にがそう。」アリもゾウも大切な命があるとお母さんが言っていたのは、きつとおばあちゃんの言葉だったんだね。

郡山市立桃見台小学校

五年 岡崎 希

生きていること。
家族がいること。
友達がいること。
学校に通うこと。
毎日ふつうだと
思っていることが、
とてもうれしい。
ずっと続いてほしい。
明日も、一つ一つに感謝しながら

ら生きていく。

福島市立福島第二中学校

三年 金澤 優

人には命がひとつ。みんなひとつの命。その命を、犠牲にして、他の命を守った人をテレビで見た。その人達に「ありがとう」と言いたい。私は、その気持ちを忘れず、その人達の命の分の精一杯、力強く生きていきたい。

福島市立福島第二中学校

一年 小森谷京花

いのち それは大切な一生の相棒だ
ドクン ドクンとわたしに生きてる証を教えてくれる
いのち それはとても傷つきやすい相棒だ
でもだからこそ 大切に大切に
一生の相棒でいたいのだ

福島市立福島第二中学校

三年 鈴木 澤

三月十一日の大震災。一瞬にして多くの命が失われた。「人は一人では生きていけない。」という事を改めて感じた。命の大切さ、人と人とのつながり、そして絆。今まで以上に意識して、生活しなければいけないと思う。

福島市立福島第二中学校

三年 菅野 真由

大震災の影響で多くの方々が苦しんだ。そのときに見知らぬ人と会話をしたり、協力してみんなで乗り越えていこうと希望をもっている人が多くなった。人と人が支え合うことで大きな心の傷もいやすことに気づかされた。

喜多方市立第二中学校

三年 庄司 亜紀

命ははかなくて尊いもの。でも、その命を守ってくれる人がいるからこそ、今の私たちがいる。愛があるから、この世界にはたくさんさんの命がある。私はそのことを忘れずに日々、感謝しながら生きている。

福島市立福島第一中学校

一年 日下部文哉

バカ、アホ、マヌケ
こんな言葉はいらない
こんな言葉で人の心にポツリと
小さな小さな穴があく
そんな穴があくような言葉を言うより
もっと人がよろこぶ
言葉を言おう
たとえば
ありがとう、と。

福島市立蓬萊中学校

三年 大内 詩子

あの日、たくさんさんの「命」が失われた。
誰もが望んだわけでもない自然の叫び。
その激しい揺れは、私の心の揺れとなった。鏡の反射のように。けれども、私は生きていく。残された命の一つとして。

下郷町立下郷中学校

三年 玉川 英美

大切な人に「ありがとう」って伝える
スキな人に「スキ」って伝える
それは、生きているから出来ること。
だから、生きていることに感謝して、伝えたい。
素直になつて…

いわき市立磐崎中学校

二年 蛭田 海純

地震で助かった命
津波できえた命
この三月十一日
たくさんさんの命が助かり
たくさんさんの命がきえた
今生きている命を
大切に
生きていこう
きえた命のぶんまで

いわき市立磐崎中学校

一年 熊谷 将吾

ぼくは、今自分に出きる事を、
精いっぱいしようと思っていま
す。
それは、学校に来ることです。
震災で、家を失い学校に来れない人が、たくさんいるので、自分が学校に来れる事を感謝し、
しっかり通いたいです。

いわき市立磐崎中学校

二年 千葉あすか

家族に ありがとう
友達に ありがとう
ありがとうは
好きな人にも
嫌いな人にも
同じだけ伝わる
魔法のような言葉
支えてくれている
すべての人たちに
ありがとう



『いのちの詩・愛の詩』佳作

桜の聖母学院小学校

一年 中尾 香音

わたし、へそのおみたことあるよ。

小さくてパリパリ。

ママのおなかをキックしてたのだった。

ふしぎだなあ。

香音は パパとママのかんのんさまだから、

いつも にこにこ がんばります。

桜の聖母学院小学校

三年 中尾 航

鳥のふんみたいなよう虫が、きれいなみどり色のよう虫にだっぴしたよ。

ぼくがまもってあげるから、

りっぱなアゲハになろうね。
アオムシコバチに気をつけて。

桜の聖母学院小学校

三年 安部 陸来

かせつじゆうたくを作るために、
パパは夜中までしごとをしている。
へトへトで帰ってくる。
ひなんで不自由な人たちも
がんばっている。
それをささえる
パパも
がんばっている。
ぼくのヒーロー、
どうか体をこわしませんように。

桜の聖母学院小学校

四年 鈴木 真宝

まん中
わたしにいとこができた。わ

須賀川市立小塩江小学校

五年 相樂明日香

らったり、ないたり、ねがえりしたり、
会うたびにいろいろう出来るようになっていく。
わたしもこうして大きくなつたのかな。
みんなのえがおのまん中にいたのかな。

桜の聖母学院小学校

二年 鈴木 萌夏

「あいつてなあに。」ママに聞いてみた。
そしたらママが、「だいじにする気もち、たいせつに思うところだよ。」と、教えてくれたよ。
わたしのあいは、みんなをたいせつに思う気もち。
かみさま、マニフィカト！

須賀川市立小塩江小学校

六年 佐久間 萌

きのうの夜
ホタルをとった。
ピカピカ光る
六匹きのホタル。
フワッ フワッ
やさしく、光る
ずっと ずっと
見ていた。
命があるから
またあなたに会いたい
そう思えるのは
今、わたしがわたしでいられるから

須賀川市立小塩江小学校

六年 吉田 有香

命が「私」のピースを作ってくれた。
ピースを全部組み合わせると「私」が出来る。
命が「私」というパズルを作り、完成させてくれたから「私」は今、「有香」として生きていく。

矢祭町立下関河内小学校

一年 寺島 舞姫

もえねえとけんかした。
こわかった。
おどろくぐらいのこえ。
びっくりした。
もえねえはない。
なきながらあやまった。
「こめんね。」
「まきもこめんね。」
やったあ。

もどおりなかなかおり。

ている。

矢祭町立下関河内小学校

六年 藤田 爽馬

いつも食べている食べ物。
それは、農家の人が作ったり、
漁師の人が採ったりしている。
そして、多くの命の恵をいた
だいて生きている。
作る人、採る人、多くの命
に感謝したい。
ありがとう。

矢吹町立三神小学校

六年 内藤 江美

今日は父の日
お父さんを思い出す
朝学校へ行く時
「いつてらっしゃい。」と言っ
ていたのに帰ると病院で亡く
なっていたお父さんの言っ
いた言葉を思い出した。
で、仏壇の前に座った
ありがとうお父さん

玉川村立川辺小学校

四年 坂本 敬大

ぼくの命は、お母さんとつ
ながってる。お母さんの命は、
おばあちゃんとながってる。
おばあちゃんの命は、ひいお
ばあちゃんとながってる。
命は、みんなとつながって
いる。

矢吹町立三神小学校

六年 蛭田 湧人

つながっている
生き物はつながっている
いのちでつながっている
鳥とも魚ともつながっている
遠回りだけど
いのちがある物は
みんなつながっている

矢吹町立三神小学校

六年 円谷 清矢

命はおもしろい
先祖の人とつながっている
たくさんの人とつながってい
る

下郷町立江川小学校

六年 五十嵐真優

命があるから笑顔になれる
命があるから泣くことができ
る
命があるから今の自分がある
命があるから輝ける
命は可能性
命は無限大

須賀川市立大東小学校

六年 草野 遥己

ありがとうと言うと
心が温かくなる
ありがとうは
笑顔のまほう
ありがとう
それは
心のプレゼント
それは
笑顔のまほう
ありがとう

下郷町立江川小学校

六年 五十嵐隆徳

下郷で

故郷の川の

音を聞き

心静かに

包みこまれる

この自然は

みんなで協力し

心を一つにし

守っていくべき

須賀川市立大東小学校

六年 草野 楓

いのちは人の財産
いのちは天の贈り物
人はいのちをうけつぐ
その新しいいのちが
またいのちをうけつぐ
いのちは一生続いてく
いのちの始まり
いのちの終わり
それはうれしい贈り物
悲しいが生命の始まり

須賀川市立大東小学校

六年 吉田 凜

電池の入れかえ
もう電池切れ
涙が出るのは
そのサイン
ニコッ
笑ってみよう
誰かに話してみよう
すっきりした
そう思えるのは

入れかえ完了サイン

んなみんなみんな生きている
人間のように

だから
その命、

せいっぱい生きて。

生きられる。

あちゃんが生きていてよかった。

伊達市立掛田小学校

四年 大江 妃

矢祭町立関岡小学校

五年 小林龍ノ介

須賀川市立白方小学校

五年 小河原 聡

二本松市立原瀬小学校

二年 石川和加奈

郡山市立安積第三小学校

五年 高比良 碧

何千人が亡くなった日

つらくて

しかたなかった日

今日までどんなに

がんばったか

どんなに苦しかったか

だけど

幸せはきつとくる

だって福島は

福の島だから

お父さんがとつせん

入院した

死んでしまわないか

心配だった

思わず涙が出た

おみまいに行くのが

すごく楽しみだった

見ると元気で安心で

帰る時にはまた

涙が出た

ぼくの宝もの？

それはね

きみとの思い出

なにげなくかわす言葉。

一つ一つが宝もの。

命は大切にしてくれ。

絶対に 約束だよ。

須賀川市立白方小学校

六年 富田みさと

二本松市立原瀬小学校

二年 黒澤 耀

郡山市立安積第三小学校

五年 関根 志織

伊達市立掛田小学校

六年 岡澤 拳太

須賀川市立白方小学校

五年 安藤 真央

風だって生きているざわざ

わ木をゆさぶっているのだから

海だって生きているのだから

ゆら動いているのだから 雲

だって生きているホワホワ空

をわたっているのだから み

死にたいなんて言わないで。

命は自分だけの物ではない。

親からもらった大切な命

たった、たった一つのかげが

えのない命

母のぬくもり、

父のぬくもり、

みんなのぬくもり、

怒り、悲しみも、

人のぬくもりで、

いやされる。

人はみんな、

ぬくもりがあるから

おばあちゃんがすんでいる石
のまき。

うみにあるわかが家や車に

ついてた。

ここまでつなみがきたんだっ

て分かった。

おばあちゃんの家はテレビが

たおれただけですんだ。おば

どんな物でも

買えない物 それは

心

どんな物でも

買えない物 それは

愛

どんな物でも

買えない物

それは

命

命、それは、

生き物がもっている光の宝物。

どんな小さな生き物も、もっ

ている光。

どんなつらい時も、その小さ

な光をともしよう。
たった一つの命も、心の宝物
なのだから。

いのちの大切さを今回の地震
でとても大切だと感じた。
あたりまえのようでとても
大切な命。

りがとう。やさしいおねえちゃん
になるね。

らだ。」と父は答えた。

福島市立福島第一小学校

一年 佐藤美佳子

郡山市立安積第三小学校

五年 水野 夏希

愛

お母さんにおこられた
でも、思った。

おこられるのは

愛なのだ。

私達を思っているから

おこるのだ

お母さんは 私に

愛のプレゼントを

くれたのだ。

新地町立福田小学校

一年 小賀坂美雪

じしん、つなみ、げんぱつ
じこ、たくさんたくさん、た
いせつなひとをうばっていつ
た。とてもかなしかったけど、
すこしずつみんなであすけ
あつて、まえをむいてあるい
ていきたいです。

「いただきます。」
ご飯の時に言う言葉。ご飯を
食べるテーブルには、たくさ
ん命がのっている。そう。私
たちは毎日命を食べている。
命があるから命ができる。だ
から感謝し
「いただきます。」

私の名前
私が生まれた瞬間
みんなが喜んだと思う
生まれて初めてのプレゼント
は、親がつけてくれた、「名前」
この時もらった名前は世界一
最高のプレゼントだと思っ
大事にするからね

福島市立福島第一小学校

二年 高橋 春風

新地町立福田小学校

一年 杉江 莉緒

ままのおなががどんどんふ
くらんで、あるひ、あかちゃん
がうちにやってきた。その
ひから、おねえちゃんになっ
た。かわいいいもうと、まま
のところをうまれてくれてあ

郡山市立日和田小学校

六年 鈴木 里彩

四年生の頃、私の飼ってい
たハムスターが死んだ。悲し
くて悲しくて涙が目からあふ
れでた。「どうしてこんなに悲
しいの？」私は父に聞いた。「そ
れは里彩が生きる事の大切さ
と命の重さを知り、感じたか

郡山市立日和田小学校

六年 畠 颯汰

お母さんはいつもうるさい。
いなくなればいいのにと思っ
た事もある。そしたら、本当
にお母さんが救急車で運ばれ
た。体がふるえ、涙が止まら
なかった。もういなくなれば
いいなんて言わない。命の約
束。

郡山市立安積第三小学校

六年 柳沼 翔香

いのちはあたりまえのよう
にある
いのちの大切さはあたりまえ
すぎて、なかなかきづかない

おかあさんのおなかのなかに
は、あかちゃんがあります。
おとうかな？
いもうとかな？
わたしは、おねえさんになる
からあかちゃんのおせわをし
ます。
まちどおしいな。
たのしみだな。

福島市立福島第一小学校

三年 植田 達也

地しんの日、たくさんの命
があつという間にうばわれた。
ぼくはお母さんに会えた
兄妹に会えた お父さんに会
えた
みんなといっしょだった そ
れが、それだけですごく幸
せなことなんだと気づいたん
だ。

鏡石町立第二小学校

一年 大河原悠人

かたつむり
あめがたくさんふって
うれしそう
ぼくもおふろがすき
みずあそびもだいすき
むしもどうぶつにもんげんも
みずがだいすきなんだ

鏡石町立第二小学校

二年 赤塚 勇希

ぼくの大すきな犬がびよう
気でしにました。つぎの日、
いないはずの犬のこえが聞こ
えてきました。でもその犬は
いません。きつと、ぼくのこ
ころの中の大すきな犬のこえ
が聞こえてきたのかな。ずつ
とぼくはわすれないよ。

鏡石町立第二小学校

二年 会田 彩

あのわすれられない
大じしん
さっきまでのえがおが
いっしゅんで
けしゴムみたいにきえた
けしちやいけないうちもある
んだよ
たいせつないのち
けしちやいけないうちに。

鏡石町立第二小学校

四年 根本 琉璃

つばめが今年も巣を作った。
赤ちゃんが、四羽生まれた。
次の日巣がこわされていた。
カラスのせいだ。せっかく生
まれてきたのに。でも親つば
めは、また新しい巣を作って
いる。もう一度、新しい命に
会うために。すごいな。

喜多方市立第一小学校

六年 樋口 博

目をつぶったその中に見え
たかすかなまぶしさをつかみ
とろうと手をのばす。どうに
かまた、自分は自分で生きて
られる。もう一度笑えるのな
ら何回泣いたっていいや。敗
北や後かいはじぶんだけに意
味のある財産。

福島市立福島第一小学校

四年 三瓶 寧々

三月十一日、大地震が東日
本で起こった。地震は、たく
さんの物を私達からうばった。
そのかわり、私は、地震が起
きて、学んだ事がある。それは、
命の大切さだ。私は、学んだ
事を生かし、命を大切にした
と思った。

鏡石町立第二小学校

三年 根本 咲良

きのうまで、おなかの中に
いた赤ちゃんが、今日は、元
氣にないている。
赤ちゃんて、すごいな。い
のちをうんだお母さんてすご
いな。
わたしたちをうんでくれた
お母さん、ありがとう。

喜多方市立第一小学校

五年 田澤ももか

東日本大震災のニュースが
テレビで毎日のように流れて
いる。心ぞうがドキドキする。
胸がキュンとしめつけられる。
そして悲しくて涙が出そうに
なる。でも悲しい事の後はほ
絶対、明るい明日が待ってい
ると思う。

会津若松市立小金井小学校

五年 渡邊 烈都

じいちゃんが生まれた
ばあちゃんが生まれた
お父さんが生まれた
お母さんが生まれた
そしてぼくも生まれた
いのちってすごいね
ずっとつながっているんだね

会津若松市立小金井小学校

五年 小原 真優

両親からもらった大切な命、
いつになってもありがとうと
言いたいすてきなモノ。そし
てもうひとつもらったプレゼ
ント、それは、思いがこめら
れた名前。どちらも大切だか
ら、いつまでも、かけがえの
ない、宝ものだよ。

会津若松市立小金井小学校

六年 小勝 勇武

大きな地しんが起きた日に、
多くの人がなくなった。ひな
んをしている人もいた。そう
いうことを考えてみると、「当
たり前」の生活が、「どんなに
幸せなことなのか」というの
を、この地しんを通して改め
て思い知らされた。

郡山市立桃見台小学校

一年 高田 大雅

おばあちゃんからおかあさ
んがうまれ、ぼくがうまれた。
そして、おとうとふたりがう
まれた。いのちがひとつずつ
ふえていく。いのちって、つ
ながっているよ。おばあちゃ
んは、そのまたおばあちゃん
からうまれたんだって。

郡山市立桃見台小学校

六年 下條 海屈

生きる意味、なぜこの世で
生きるか知っていますか。そ
れはお金持ちになるためでも
なく、ぐだぐだするためでも
ありません。
生きる意味を見つけるため
に、僕たちは生き続けるので
はないでしょうか。

須賀川市立柏城小学校

三年 加藤 万尋

大地しんの後、原発がばく
はつした。目に見えない、ほ
うしゃ線が、わたしのまわり
にたくさんある。だから外で
うん動会はできないし、あつ
いのちにプールにも入れない。
三十年後がんになるかもしれ
ない。ひどすぎる。

会津若松市立小金井小学校

五年 齋藤 未優

ひいおばあちゃんがなくな
った。家に行ってもいつも
存在感がうすかったけど、い
なくなってみるとやっぱりさ
びしい。こんなにたよってた
んだと、改めて感じる。大好
きなひいおばあちゃん、今ま
でありがとう。

郡山市立桃見台小学校

一年 関根 果歩

あさがおさん。
おおきくなったね。はっぱも
いっぱい。つるもどんどの
びてるよ。
あさがおさん。
きれいだね。おはなをいっぱ
いさかせてね。
あさがおさん。
いのちをいっぱいさかせてね。

郡山市立桃見台小学校

五年 佐藤 楓

うつくしい自然の中で
つよく生きる心
くるしいときも
しあわせなときも
まけないで進もう
ふくしまは
くろうをのりこえ
しっかりと
まえを向こう
命あるかぎり

須賀川市立柏城小学校

二年 柴原奈々果

大きなじしんがあった。ち
きゆうは、生きてる。たくさ
んの友だちがこわい思いをし
た。たくさんの人たちが、か
なしい思いをした。わたしは
わすれない。たくさんの人に
ちきゆうのこわさをつたえる
れんらくがかりになる。

須賀川市立柏城小学校

四年 春山 理菜

去年のクリスマスの月、と
ても温かくてうれしいプレゼ
ントがときました。「ゆうま」
私の弟です。丸くてやわらか
くて、とてもふわふわしてだっ
こしていると幸せな気分にな
ります。命が生まれるってう
れしいね。

須賀川市立柏城小学校

四年 黒津ひなた

わたしのお母さんのおなかには、赤ちゃんがいる。大きな地しんがきてびっくりしたよね。まだ、生まれてなくてよかったね。すこく、こわかったんだ。

でも大きくなったら教えてあげるね。君が生まれる前のことを。

須賀川市立柏城小学校

四年 北野寿美怜

私のひいおばあちゃんは九十二才です。会うといつも「子は宝」と言っていっぱいかわいがってくれます。だから、私もお姉ちゃんもお母さんもみんなうれしくなります。おばあちゃんありがとう。もっと長生きしてね。

福島市立福島第二中学校

一年 鈴木 友梨

青い青い地球にはねたくさん苦しみがあるたくさんやさしさがあるたくさんさみしさがあるそしてたくさん愛があるそれで地球は回ってる

福島市立福島第二中学校

一年 嶋田 怜

宇宙で生まれるいのち地球で生まれるいのち人から生まれるいのちそのいのちを僕は守るそのいのちを私は守るいのちでみんなの心がつながっている

福島市立福島第二中学校

一年 米村あかり

赤・ピンク・黄色は

みんなの心の色

みんなそれぞれいろんな色をもっている

頑張っている時の色は赤でうれしい時の色はピンクでね幸せの時の色は黄色なんだよ

福島市立福島第二中学校

二年 齋藤まりる

ありがとう私を生んでくれてありがとう私を育ててくれてありがとう私と出会ってくれてありがとう私と出会ったすべての「いのち」

福島市立福島第二中学校

三年 先崎 亮一

僕たちは今生きている母なる大地からいのちを授か

り

僕たちは今生きている

いのちは うまれる

母なる大地からあふれるように

いのちは うまれる

いのちは 死ぬ

死んだいのちは大地へ行く

そして再び うまれる

いのちは まわる

福島市立福島第二中学校

三年 丹治 楓佳

震災後たくさんの命の光が消えました。その中には家族を思って必死に逃げた人やその人達を一生懸命非難させた人がいます。今、私達はその光を惜しまずにその光のように強く、明るく生きることが大切だと思いました。

いわき市立内郷第三中学校

一年 小野志穂美

神からあたえられる命。あたえられた命には意味があり

使命がある。

その使命を果たすには様々な壁があります。

その壁を乗り越えるのはあなた自身です。その壁を乗り越えて

今、命は輝くのです！

福島市立福島第一中学校

二年 佐藤 優衣

人はいつか死んでしまう。けれど、そのたび人は泣いて強くなる。大切な人をなくした時人は涙をながす。それは、あなたの心が泣いているから…。人は泣いて強くなる。涙をながして強くなる。

福島市立福島第一中学校

二年 阿部満里奈

人は一人では生きていけない。支えあって生きていくのだ。

人は一人では生きていけない。自分まで命のバトンが回ってきてくれたから、こうして私は今、生きている。

今度は私が支え、命のバトンを渡そう。

福島市立福島第一中学校

二年 澁谷 良平

花を支える枝、枝を支える幹、幹を支える根、根が支えていることは気付きにくいけど花を自分だとすると親が枝そのまた親が幹、親の親の親が根、たしかに花はきれいだけれど、根があるから花もさけるといふ事に気付いた。

福島市立福島第一中学校

二年 西坂 彩

根は見えないけれど、見えていない所で、活やくして、花や、くき、幹を支えられる力があると思った。だから、見えない所でも、根みたいを支えられる、活やくできる人になれるように、頑張りたいと思った。

福島市立福島第一中学校

二年 門馬そよか

たくさんの人のおかげで今を生きている
今わたしたちが花でいられるのは、枝・幹・根である人たちのおかげ
このもらった大切な命をムダにしないように生きていく
こう
大切な命をありがたう
これからも頑張るね

福島市立福島第一中学校

二年 渡辺 成也

自分の命が今ここに、あるという事は
先祖の人達が、命を諦めず、生き抜いてくれたから、幾千といふ僕の先祖が生き継いでくれた奇跡、その「バトン」を途中で落とすのは信じられない。せひつないでほしい。

福島市立遠葉中学校

一年 知野 哲也

今、いのちがあるのは、だれのおかげ？うんでくれた母のおかげ、育ててくれた人達のおかげ。一つ一つのいのちは、他のだれかに支えられている。だから
どうか粗末にしないで。あなたの周りの人達を、悲しませないで。

福島市立遠葉中学校

二年 山岸 未来

何だろう いのちっていのちが無ければ辛い思い悲しい思いをしなくていいのに
でも いのちがあれば嬉しい事 楽しい事
なんだってできる
いのちは
何にも変えられない
大切な 宝物

福島市立遠葉中学校

二年 渡辺 玲奈

私達は生きている
太陽の下 月の下
そして空の下で
すべてのものが生きている
私達は生きている
なぜだろう
私が生きている隣にはいつも誰かがいる
誰かが私の命を守ってくれて

いる

私達は生かされている

いわき市立磐崎中学校

一年 犬塚友佳子

私はその時
学校の体育館にいた
いきなり地震がなり
地震が起きた
世界中が
きょうふで染まった
亡くなった
大勢の人々のためにも
私はこの震災を
一生忘れないだろう

いわき市立磐崎中学校

二年 吉田 龍人

生きること
それは喜び
生きること
それは悲しみ
今、この時

たくさんいのちが
光り、輝いている
生きること
それは希望

一人の力は小さいけれど皆で
やれば大きな力になる。少し
の思いやりの気持ちで、たく
さんの笑顔が生まれるといい
な。

いわき市立磐崎中学校

二年 大岡 佳那

家族の愛。

地域の愛。

福島県の愛。

日本の愛。

世界の愛。

あたにかい、思いやりの心。

それが愛。

世界には、たくさん愛が溢
れている。

優しい優しい愛が…。

福島県立須賀川高等学校

三年 二瓶 栞

大きな瞳から出てくる君の
涙。そんな君を見て、助けた
いという思いが生まれる。私

「いのちの詩・愛の詩」入選

桜の聖母学院小学校

二年 伊藤 夕美
三年 郡司 真歩
五年 佐藤穂乃加

須賀川市立小塩江小学校

六年 相樂 秀也

いわき市立中央台北小学校

六年 片寄 萌衣

矢祭町立下関河内小学校

一年 保住 優希
六年 木下 陽有

玉川村立川辺小学校

六年 矢部 隼輝

白河市立表郷小学校

四年 須藤 真凜

下郷町立江川小学校

六年 竹田 成弥

棚倉町立高野小学校

六年 鈴木 麻友

須賀川市立大東小学校

五年 関根 愛
五年 松本 大輔
六年 関根 真美

伊達市立掛田小学校

四年 橘内 志帆
五年 鈴木 真央

檜枝岐村立檜枝岐小学校

五年 平野 生

矢祭町立関岡小学校

六年 本多 里奈

須賀川市立白方小学校

五年 坂本 柊
六年 泉田 歩那
六年 深谷 友貴

二本松市立原瀬小学校

二年 志賀 海人

須賀川市立第三小学校

四年 藁谷 有里
四年 荒川 結斗
四年 木賊いずみ

二本松市立二本松南小学校

四年 中川 千鶴
四年 京谷 遥
六年 三谷 里沙

郡山市立安積第三小学校

五年 後藤 良
五年 小川 優樹
五年 高橋 優太
六年 八木 奎悟
六年 石井 悠
六年 青木 岳大
六年 大越 拳斗

新地町立福田小学校

二年 大須賀萌恵
五年 荒 洋介

郡山市立日和田小学校

六年 松本 悠希
六年 椎根 史貴

福島市立福島第一小学校

一年 常磐 詩織
四年 渡邊 玲菜
四年 田丸 恵

鏡石町立第二小学校

一年 小林 凌雅
二年 藤井 光
二年 円谷 彩香
二年 高島 茉莉
二年 遠藤 優作
四年 永山 佑基
五年 丸山 優奈
五年 小林 沙矢
六年 鵜沼 直緒
六年 円谷 朱里
六年 皆川 涼平
六年 有馬 未紗
六年 石堂 裕也

喜多方市立第一小学校

四年 國分 楓佳
五年 風間 英恵
五年 永井 一輝
五年 高島しおり
六年 佐藤 彩

会津若松市立小金井小学校

五年 永田 諒奈
五年 押部 明斗
五年 堀川 佳乃
五年 北條 海里
五年 清野 陽斗
六年 玉川 愛佳

郡山市立桃見台小学校

一年 市橋 健輔
一年 吉田 樹里
一年 福田 晴之
五年 齋藤 里菜

須賀川市立柏城小学校

四年 富塚菜々美
四年 菅井 花奈
四年 関根 綾香

福島市立福島第二中学校

一年 鎌田 夏希
一年 筒井 実咲

一年 蛭田 心優

一年 伏見 祐花
二年 吉田 嘉子
二年 渡部 雅史
三年 斎藤 大暉
三年 青木 柚

いわき市立内郷第三中学校

一年 北郷 祥子

喜多方市立第二中学校

三年 眞田 麻由
三年 佐藤 真由
三年 横山 裕華
三年 目黒 喜恵

福島市立福島第一中学校

一年 岡崎 誠也
二年 高橋 茜
二年 永松 智弘
二年 古内 涼太

下郷町立下郷中学校

一年 星 香純
三年 古川 蓮

いわき市立磐崎中学校

一年 磯上 紗良
一年 遠藤 萌夏

一年 鈴木 茜

一年 渡邊 直人
一年 山崎 諒
二年 矢部 楓
二年 服部あやね
二年 三浦 幸宏
二年 鈴木 茉優
二年 大田原美和
三年 諏訪 安夏
三年 菅原帆乃花
三年 小野 智正

福島県立須賀川高等学校

一年 長尾 真純
三年 渡邊 志穂

一〇〇文字提案

「あたたかい言葉のプレゼント」

「あたたかい言葉のプレゼント」
最優秀・優秀・佳作 受賞者一覧

最優秀

須賀川市立大森小学校

六年 関根友太郎

須賀川市立福田小学校

六年 常松奈々子

伊達市立掛田小学校

二年 菅野 隼

新地町立福田小学校

一年 鈴木 啓行

郡山市立日和田小学校

六年 鈴木 里彩

福島市立福島第二中学校

一年 佐々木陽菜

福島市立福島第一中学校

三年 武藤 幸大

優秀

桜の聖母学院小学校

五年 大谷野乃子

須賀川市立大森小学校

六年 関根 海大

六年 関根 圭祐

矢吹町立三神小学校

六年 関根 司祥

須賀川市立大東小学校

六年 金澤 夏季

郡山市立片平小学校

六年 岡部安優香

須賀川市立第三小学校

四年 込山 詩乃

新地町立福田小学校

一年 五十嵐美結

一年 齋藤 陽菜

福島市立福島第一小学校

二年 今野 桃恵

四年 古川 理紗

鏡石町立第二小学校

一年 小林 京主

三年 皆川 未来

喜多方市立第一小学校

五年 齋藤幸一郎

六年 田中 啓介

郡山市立桃見台小学校

六年 渡邊 日向

福島市立福島第二中学校

一年 村山 詩織

二年 樺元 沙羅

喜多方市立第二中学校

三年 小椋 真由

福島市立福島第一中学校

一年 矢吹 怜於

福島市立蓬萊中学校

一年 柴田 夕夏

下郷町立下郷中学校

一年 小椋 淑弥

佳作

桜の聖母学院小学校

五年 村田 奈々

五年 本田 瑞紀

いわき市立中央台東小学校

五年 遠山 果歩

矢祭町立下関河内小学校

三年 古市 琉

須賀川市立大森小学校

六年 吉田 啓太

玉川村立川辺小学校

六年 矢吹 弘貴

須賀川市立大東小学校

六年 小林 沙希

伊達市立掛田小学校

二年 栗花 健斗

伊達市立五十沢小学校

五年 岡崎 亜美

郡山市立片平小学校

四年 佐藤 玲依

六年 高橋憲二郎

二本松市立原瀬小学校

六年 佐藤 歩

須賀川市立第三小学校

四年 村越 愛希

四年 高木ほのか

二本松市立二本松南小学校

六年 鈴木 麗

郡山市立安積第三小学校

五年 渡邊 志歩

六年 高橋 咲衣

新地町立福田小学校

六年 星 憲士

郡山市立日和田小学校

六年 佐倉 汐奈

六年 渡部 桃花

福島市立福島第一小学校

三年 石橋 知尚

五年 伊藤 那奈

六年 菊地菜々子

鏡石町立第二小学校

四年 吉田 璃音

五年 添田 佳

六年 石堂 裕也

喜多方市立第一小学校

五年 吉田 翔一

六年 山田 幸輝

六年 薄 怜奈

会津若松市立小金井小学校

五年 大竹 祥渚

五年 鈴木江梨子

郡山市立桃見台小学校

一年 三浦 もえ

五年 菊地 彩乃

須賀川市立柏城小学校

五年 鈴木 麻友

六年 稲葉 萌音

福島市立福島第二中学校

一年 菅野 亜美

二年 梅澤 勇紀

二年 末永 華恵

二年 南澤可奈子

「あたたかい言葉のプレゼント」受賞者一覧

三年 齋藤 友美

喜多方市立第二中学校

三年 武田 凜

三年 平野なつみ

福島市立蓮葉中学校

二年 阿部 愛美

いわき市立磐崎中学校

二年 小泉 美咲

二年 渋井 望美

二年 島崎 海理

「あたたかい言葉のプレゼント」最優秀

須賀川市立大森小学校 六年 関根友太郎

「シュートだけがサッカーじゃないよ。」

ディフェンダーであまり活躍できなかった僕に友達のお母さんがかけてくれた言葉。周りの助けがあって成り立っている主役。主役になれなくてもそれを支えるもう一つの主役だ。

須賀川市立稲田小学校 六年 常松奈々子

人が言う一言は、傷つくこと、悲しむこと、うれしくなること、あたたかくなることがある。「きらい！」などは人の心をこわしてしまう。「すごい！」などは自分と相手をつなぐ。うれしい言葉は相手も自分もうれしくなる。

伊達市立掛田小学校 二年 菅野 隼

「隼へ、一週間休まずがんばりましたね。」

「きょうのおべんとうには、なの花が入っています。春をあじわってください。」

お母さんは、ぼくのれんらくちょうに手紙をくれる。いつもおうえん、ありがとう。

新地町立福田小学校 一年 鈴木 啓行

ぼくのじいちゃんはりょうでした。つなみがきてからうみにでることができなくなりました。まいにちうみばかりみていて、とてもさびしそうです。

じいちゃん、おうちにはいろう、ぼくはやさしいいました。

郡山市立日和田小学校 六年 鈴木 里彩

母は私が生まれた時、私に「生まれてきてくれてありがとう。」と言ったらしい。以前、そんな話をした。記憶にないけど言われた時はとてもうれしかっただろうし、今言われても心がときめく。その言葉は母からの最初のプレゼント！

僕はその言葉を聞いた時、こんな自分でも他人から感謝される人間と分かり、勇気がついた。

福島市立福島第二中学校 一年 佐々木陽菜

三月十一日に地震があり、校庭に避難しました。この時私はみんなとコワイよといっていました。一緒に避難した幼稚園の先生に「今あなた達がしっかりしないでどうするの」と言われ、私は強くなろうと思いました。

福島市立福島第二中学校 三年 武藤 幸大

僕はその言葉を福祉体験の時にお年寄りの方々から聞きました。

その言葉は、「あなたと出会えてうれしい。」という言葉です。

「あたたかい言葉のプレゼント」優秀

桜の聖母学院小学校 五年 大谷野乃子

地震のあと給水所に水をもらいに行く
と係の人に「ごくろうさん」と、言
われ、近所のおばさんには「エライね。」
と言われ、お母さんには「ありがとう」
と言われ、あたり前のことなのにほめ
られてがんばろうと思った。

須賀川市立大森小学校 六年 関根 海大

「がんばれ、一人じゃないぞ。」
会ったこともない宝塚の小学校から
届いた言葉のプレゼント。僕はうれし
かった。大きな被害を受けなかった僕
こそがんばらなくちゃ！売布小学校の
みんなへ、「がんばるよ。」

須賀川市立大森小学校 六年 関根 圭祐

「一人はみんなのために、みんなは一
人のために」、これがいい。兵庫県の小
学生からもらった言葉だ。みんなで団
結してがんばろうと思った。「つながっ
ているんだ。」とても嬉しかった。僕に
もできることはある。まずは第一歩だ！

矢吹町立三神小学校 六年 関根 司祥

ぼくは、友達に温かい言葉をもらっ
た。
けがをした時は「大じょう夫」、こまっ
ている時「どうしたの」、何かにチャレ
ンジした時「がんばれ」と言ってくれる。
友達ってとっても良いな。

須賀川市立大東小学校 六年 金澤 夏季

私は五年の時からずっと一人でし
た。でも、そんな時にお母さんは、相
談にのってくれます。その時に必ず言っ
てくれる言葉があります。それは、
「いつまでもおうえんしてるからね。」

郡山市立片平小学校 六年 岡部安優香

「ありがとう」って言われて心が温かく
なった。

「ありがとう」って言うとき自分も心が温
かくなった。

ありがとうの言葉は、言ったほうも言
われたほうもおたがいに、
温かい気持ちになれる。

ありがとうの言葉で、みんな幸せにな
れる。

須賀川市立第三小学校 四年 込山 詩乃

わたしは、転んだ時、友達に、
「だいじょうぶ。」
と言われます。すると、元気が出てき
ます。

何かを手伝うと、

「ありがとう。」

と言われます。すると、うれしくなります。言葉はすごいなと思います。

新地町立福田小学校 一年 五十嵐美結

わたしはみなみそうまからきたの。おみせもしまって、がっこうのじゅんびがでなくて。

しえんぶっしっぱいもらってにゅうがくできたよ。

おくってくれたひとありがとう。

新地町立福田小学校 一年 齋藤 陽菜

しえんぶっしのなかに、てがみがありました。とおくのまちからおうえんしてくれているひとがいます。だからわたしは、「ありがとう。」とおもいました。

わたしのおもいが、みんなにとどきますように。

福島市立福島第一小学校 二年 今野 桃恵

きょう、おねえちゃんがかにたくさんさされてかえってきました。

わたしは、

「だいじょうぶ？」

と、言いました。かゆいのがすこしなくなると思いましたが。こんどは、ムヒをもつてあげようかな。

福島市立福島第一小学校 四年 古川 理紗

なかよしのともだちがてんこうしてしまった。あのじしんさえなければ、ずっといっしょだったのにく。わかれはつらかった。わたしは、「ずっとともだちだよ。」と言ってくれたともだちの言葉がうれしかったです。

鏡石町立第二小学校 一年 小林 京主

うしのちちしほりのおてつだいをしたよ。ぎゅうつておっぱいをつかむと、しゃあつておっぱいがでてるよ。あつたかいんだ。のむところもほんわかになるんだよ。おとうさんが「ありが

とう。」っていつてくれた。

鏡石町立第二小学校 三年 皆川 未来

弟のようち園に、おむかえに行ったら弟がいないいる女の子に

「なかないで。」

とやさしい言葉をかけていました。わたしはそれを見ていて、弟に

「えらいね。」

と言葉をかけてあげました。弟はにこっとした。

喜多方市立第一小学校 五年 齋藤幸一郎

ぼくは、転校するとき前の学校の先生は君の笑顔があれば、だいじょうぶ。と言ってくれました。友だちができるか不安だったけど、先生の言葉で勇気をもらって笑顔であたらしい学校に行きました。

喜多方市立第一小学校 六年 田中 啓介

小学校最後の運動会、僕は鼓笛隊の指揮。何日も前から不安だった。い

よいよ本番。深く深呼吸すると、先生や先輩や友達に励まされた言葉が次々と頭に浮かび、力がわいてきた。みんながいたから頑張れた。ありがとう。

郡山市立桃見台小学校 六年 渡邊 日向

ぼくは、あたたかい言葉とは人を気づかう言葉だと思います。たとえばお年寄りの方に

「お体大丈夫？」

と言ったら相手もうれしいなあと思うかもしれませんが。だから気づかう言葉をたくさん使いたいです。

福島市立福島第二中学校 一年 村山 詩織

震災でみんなとはばらばらになり、昨日まで遊んでいた人とはもう会えないかもしれない。そんなある日お母さんが「いつか帰れるからがんばろう。」と言ってくれた。わたしは、もう少しがんばってみようと、勇気がでてきた。

福島市立福島第二中学校 二年 樺元 沙羅

いつも悩んでばかりでマイナスな考えしかできなかった私にあなたは、「誰も君を一人にしないよ。私は絶対に君を見捨てないから。」そう言われた時、涙が出るほど嬉しかった。あたたかい言葉をありがとう。

喜多市立第二中学校 三年 小棕 真由

今は、大震災でみんな苦しんでいる。だからこそ、あたたかい言葉のプレゼントをしよう。「一緒に頑張ろう」そのたった一行の言葉でも、助けられ勇気が湧いてくる。その一行の言葉でも、人の心は温められるんだよ。

福島市立福島第一中学校 一年 矢吹 怜於

友達に伝える
「ありがとう」
家族に伝える
「ありがとう」
五文字の短い言葉
だけど、感謝の

気持ちがつまってる
みんなに伝える
最高の言葉

「ありがとう！」

福島市立蓬萊中学校 一年 柴田 夕夏

「大丈夫。」この言葉に私は元氣付けられます。自信が無くてどうしたらいいのか分からない時にこの言葉を聞くと、大丈夫な気がして、前向きになり、勇気がでるからです。「大丈夫。」一言だけでも心に響く言葉です。

下郷町立下郷中学校 一年 小棕 淑弥

東日本大震災において被災したみなさんにあたたかい言葉を送ります。

それは

「一人じゃないみんながいる」

この言葉を胸に復興に向けて、がんばりましょう。

「あたたかい言葉のプレゼント」佳作

桜の聖母学院小学校

五年 村田 奈々

去年のマラソン大会で、胸が苦しくて走るのが辛い時、頑張れと励まされた。そう言ってくれたのは、上級生だった。顔を覚えていてくれたのだ。力が出た。私は、こんな言葉をかけられる上級生になれたらいいと思う。

桜の聖母学院小学校

五年 本田 瑞紀

私の心に一番残っているあたたかい言葉は、亡くなった友達からもらった「体育がんばってね。」の一言です。この言葉はなやみがある時などで私の支えになってくれます。だから、言葉をくれた友達にありがとうといいたいです。

いわき市立中央台東小学校

五年 遠山 果歩

震災の時、東京にいたいこの家にいた時にもうそろそろいわきにもどろうとしていたころ、「えんりょしないで安全になるまでいいよ。」といわれたのでとってもあたたかい気持ちになりました。安心しました。

矢祭町立下関河内小学校

三年 古市 琉

わたしは、相手に、わるいことをしてしまったり、ぶつかってしまったときには、「だいじょうぶ、ごめんね。」と、言います。これからちゃんと言います。「ごめんね」と言うときになかなおりできるからふしぎです。

須賀川市立大森小学校

六年 吉田 啓太

算数のテスト九十五点。あー、がっかり。満点の友達に「よかったね。」と声をかけた。すると、「君もいい点数でしょ。」と励ましてくれる友達。心に巻きついていた糸が一瞬にしてほどけていく。そうだ、僕もがんばった。

玉川村立川辺小学校

六年 矢吹 弘貴

ぼくは、毎朝、お母さんが仕事に行くとき言う言葉があります。それは、「今日もがんばってね。」ということです。この言葉でお母さんが少しでも勇気づけばいいなあと思ってその言葉をかけています。

須賀川市立大東小学校

六年 小林 沙希

私を感じるあたたかい言葉のプレゼントは「ありがとう」です。どんなに悲しくてつらい現実があっても、この言葉で立ち直れるからです。そして、人の優しさを実感できるからです。ありがとうございます私の大切な言葉です。

伊達市立掛田小学校

二年 栗花 健斗

ぼくの弟のりくとはまだ一さいにもなっていない。家ぞくはみんなりくが大すきだ。「健斗も、りくとみたいにかわいかったよ。みんなで大じにそだててきたんだよ。」お母さんのことばでもりもりげん気がでた。

伊達市立五十沢小学校

五年 岡崎 亜美

わたしが電車の中ですわっていた時だった。おばあさんがすわらず手すり

につかまっていた。わたしが席をゆずったら、

「ありがとう。」

とやさしい笑顔ですわった。良い気持ちで電車からおりた。

郡山市立片平小学校

四年 佐藤 玲依

一年生になったばかりでまだ友達がいらない私に、一人の友達が、「一緒にあそぼう。これからもずっと一緒だよ」と言ってくれました。うれしかったです。

この言葉のおかげで今ではたくさん友達ができました。

郡山市立片平小学校

六年 高橋憲二郎

ぼくが歩いていると、荷物を持ったおばあちゃんがいた。

「大丈夫ですか？」

と声をかけると

「ありがとうねえ。」

といてくれた。

「ありがとう。」

短い言葉だけど

心が温まる言葉なんだ。

二本松市立原瀬小学校

六年 佐藤 歩

私は、いつも友達や家族やみんなに支えられて生きている。なのになかなか「ありがとう。」って言えない。けれど友達は私に、「ありがとう。」って言うってくれる。言われるととてもうれしい。だから今言うよ。「ありがとう。」

須賀川市立第三小学校

四年 村越 愛希

わたしは、お母さんと公園に行つて鉄ぼうを、やりました。初めて、さか上がりができました。そしたら、お母さんが、すごいねできてるよ、と声をかけてくれたので、わたしは、もっと高い鉄ぼうにちょう戦しました。

須賀川市立第三小学校

四年 高木ほのか

わたしが、鉄ぼうを練習して、もうすこしなのになかなかできない、また失敗かと思ひながら

やっていた時

「もうすこし、ぜったいできるからがんばって。」

と友達が言ってくれた。なんかできる気がした。

二本松市立二本松南小学校

六年 鈴木 麗

私のお父さんは、トラックで配送の仕事をしています。一生けんめい働いて、帰ってくると疲れているのに私達にごはんを作ってくれます。休みの日はいろんな所につれていってくれます。体に気を付けてがんばってね。

郡山市立安積第三小学校

五年 渡邊 志歩

私がまだ小さかったころ公園の草取りをてつだっているときに、近所のおじさんが、「あと少しだからがんばってね。」と言ってくれました。私はその言葉のおかげで、あつくてもがんばることができました。

郡山市立安積第三小学校

六年 高橋 咲衣

私はおちこんだり、もやもやすることがあると友達はもちろんお母さんに相談します。するとお母さんはまほうつかいのように私の心を読みとるかのようによさしく「そんなの気にしない。」とまあこんなことを言ってくれました。

新地町立福田小学校

六年 星 憲士

ぼくの祖母は、口うるさい。そばに来て、訳解らない事を言う。

「うるさいな。」

と思った時、

「おばあちゃんは、家の守り神。」

と母がポツリと言った。

その時から、いやだなという思いが消えた。

郡山市立日和田小学校

六年 佐倉 汐奈

色んないい方があるけれど、

やっぱりどれも気持ちいい。ついつい笑顔でかえしちゃう。感謝の言葉ありがとう。雲った心も晴れてくる。ちよっぴり照れくさいけれど、大きな声でいおう。ありがとう。

郡山市立日和田小学校

六年 渡部 桃花

三月十一日のあの日。私は、どうしていいかわからなかった。そんな時、周りの人は私に「大丈夫」と声をかけてくれた。「大丈夫」そんなささいな一言でも私はとても安心した。私はあの時の事を一生忘れる事は無いだろう。

福島市立福島第一小学校

三年 石橋 知尚

ぼくが生まれる前、お父さんは、男の子だと分かった時、「うれしくてねむれないよ。」と、言ったそうです。その事を聞いて、ぼくもねむれなくなりました。

福島市立福島第一小学校

五年 伊藤 那奈

この前、イギリスから手紙とくつ下がとどきました。その手紙には、「心配しています」「がんばって」などの言葉が書いてありました。イギリスの方達はすてきなプレゼントを送ってくれました。大事にしたいです。

福島市立福島第一小学校

六年 菊地菜々子

私は、学校へ登校するとき、地域の人に、「行ってらっしゃい。」と言われる。私はうれしい気持ちになる。私は、あいさつは、一番身近なプレゼントだと思う。だから私も送りたい。笑顔で「行ってきます。」のプレゼント。

鏡石町立第二小学校

四年 吉田 璃音

わたしたち四年生は一小の四年生と、リレーたいけつをしました。さいしよは、自信がなかったけど、一小の女の子にこんな、温かい言葉をもらいました。「負けたらくやしんだけど、おたがいががんばろうね。」

たけど、一小の女の子にこんな、温かい言葉をもらいました。「負けたらくやしんだけど、おたがいががんばろうね。」

鏡石町立第二小学校

五年 添田 佳

私は、ソロバンを習っています。たまに、失敗したり、試験の時に、きんちようすると、先生が、

「あなたなら、きっとできますよ。」

と言ってくれます。

私はいつも、その言葉を信じてやっています。

鏡石町立第二小学校

六年 石堂 裕也

ぼくは、お母さんにおこられる。毎日の様におこられる。

だから、ぼくのこと嫌いなのか聞いた。

そしたら、「嫌いななら何も言わない」って言われた。ぼくは、考えた。それって好きってこと。ぼくは、うれしかった。

喜多方市立第一小学校

五年 吉田 翔一

ぼくのおばあちゃん毎朝おはようと言います。いつも帰ってくると「おかえり、ごくろう様」と言ってくれます。「いつもよくがんばっているね」とほめてくれます。毎日あたたかい言葉のプレゼントをもらっています。

喜多方市立第一小学校

六年 山田 幸輝

運動会の二百メートルの時、速い人といいました。ぼくは、「二位は無理だよ。」と母に言ったら、

「お母さんは順位じゃなくて、全力で走ってくればいいよ。」

と言った。ぼくは運動会が楽しみになった。

喜多方市立第一小学校

六年 薄 怜奈

「ガタッ。」わたしは、サボテンをたおしてしまいました。そこにおばあちゃん

んが来て言いました。

「サボテンも生きているんだよ。転んだままじゃかわいそう。」

あたたかくて優しいおばあちゃん
の言葉です。

会津若松市立小金井小学校

五年 大竹 祥渚

ぼくは、四年生の時に会津百
キロ徒歩の旅と言う会津地方を
四ばく五日で歩くイベントに参
加しました。

歩いていくたび、見かける人は、
「がんばれ。」と言ってくれてと
てもうれしかったです。ぼくも
周りの人をおうえんします。

会津若松市立小金井小学校

五年 鈴木江梨子

「ありがとう。」「どういたしま
して。」

私は、そんな言葉が大好きで
す。だって、とてもうれしい気
持ちになりませんか。

私も、たくさんの人にこの言
葉をプレゼントしたいです。

郡山市立桃見台小学校

一年 三浦 もえ

「ありがとう」って、うれしい
ことです。

うさぎさんは、しろいけがふ
わふわで、とてもかわいいです。
えさをあげると、わたしをみて、
「ありがとう」っていつてるみた
いな目をします。わたしもとて
もうれしくなるよ。

郡山市立桃見台小学校

五年 菊池 綾乃

プールの進級テストの時、私
は、テストにおちたらどうしよ
うとさんちようしていました。
その時お母さんは、「おちたら、
何回でもうけられるんだからが
んばりな。」と言ってくれました。
私は安心して泳げました。

須賀川市立柏城小学校

五年 鈴木 麻友

わたしは、今回の地しんで、
家をなくしました。すごくショッ
クでした。

でも、津波で家や家族をなく
している人もいるので、その人
たちに会ったら、春はおとずれ
るよと言います。

私もがんばります。

須賀川市立柏城小学校

六年 稲葉 萌音

私は今回の震災で分かりまし
た。温かい言葉が大切というこ
とが。震災の時、近所の人、家
族などで温かい言葉を言ったり
言われたりしました。言った時
は気持ちよくて言われた時はす
ごくうれしかったので続けたい
です。

福島市立福島第二中学校

一年 菅野 亜美

「一緒に頑張ろう。」たった一
言だけど、こんなにも温かい。
東日本大震災でつらい思いをた
くさんした。けれどたくさんの方
の言葉のプレゼントが、私を前向
きに頑張らせてくれた。
言葉って素晴らしい、そう思っ
た。

福島市立福島第二中学校

二年 梅澤 勇紀

僕は学校行事で宮城に行った
時、宮城は同じ被災地であるの
に「原発大丈夫？がんばってね。」
と言われました。短い言葉でし
たが、とても僕はうれしくなり、
感動しました。このような言葉
を言える人間になりたいです。

福島市立福島第二中学校

二年 末永 華恵

私は最近友達に「ありがとう」
と言われるとはずかしくてうれ
しい気持ちになる。なにげない
言葉だけど、たくさんの方の温かい
心がつまった言葉だと分かった。
今度は私が友達に「ありがとう」
とたくさん伝えたいです。

福島市立福島第二中学校

二年 南澤可奈子

毎日、家に帰ると、マンショ
ンの人達や近所の方々に「おか
えりなさい」と、声をかけても
らいます。いつもきく言葉です

が、その一つひとつにあたたか
さを感じます。なので、私もこ
れから進んで声をかけていき
たいです。

福島市立福島第二中学校

三年 齋藤 友美

「友美ちゃんの絵、好きだよ」
と友達に言われて、私はとても
うれしかった。私は、絵を描く
のが好きで、友達に絵をプレ
ゼントする。友達に言われた言葉
はもっとたくさん新しい絵を描
きたいと思わせてくれるやる
気の素だ。

喜多方市立第二中学校

三年 武田 凛

「勉強したのか？高校に行けな
いぞ」ってお母さんに怒られた。
本気で怒られた。私は泣いた。
悔しかった。だから勉強して良
い点数をとった。お母さんは、
ほほえんだ。私はその時、気づ
いた。お母さんありがとう。

喜多方市立第二中学校

三年 平野なつみ

卒業式、部活の憧れの先輩に
「なつみが私の後輩で、本当に良
かった」と言われました。同時
に私も、この人の後輩で良かっ
たと思うあまり、涙が溢れてき
ました。最後の中体連後輩とし
て、先輩の夢を私が叶えたいで
す。

福島市立遠葉中学校

二年 阿部 愛美

それはある冬の事でした。ど
うしようもなく立ち止まってい
た私に、祖母がこう言いました。
「自分を信じろ。神様はちゃんと
見てっかんな。」この言葉のプレ
ゼントは今でも一生の宝物で、
私の心の支えです。ありがとう
ばあちゃん。

いわき市立磐崎中学校

二年 小泉 美咲

私の思うあたたかい言葉は、
「こんにちは」や「おはよう」な

どのあいさつです。

理由は、一言だけけどいろ
いろなたくさんの人とふれあえ
るからです。この言葉をたくさ
んの人におくりたいです。

いわき市立磐崎中学校

二年 渋井 望美

三月十一日の地震があった日、
家には私と姉と祖父がいました。
とても大きい地震で、私はどう
していいかわからなくなっただ
け、姉と祖父は、「大丈夫」といっ
てくれました。普通は何も感じ
ないけど、その時は、はげまさ
れました。

いわき市立磐崎中学校

二年 島崎 海理

ぼくは、栃木に避難した時、
近所のスーパーに足の不自由な
おばあさんがいました。重そう
にしていた荷物を持ってあげま
した。車まで運んであげたら、
世の中のためにも頑張っただけ
と言われました。勇気をもらいま
した。

「あたたかい言葉のプレゼント」入選

桜の聖母学院小学校

二年 高橋 恭平
三年 高橋りりか
三年 齋藤 優羽
四年 佐藤 寿音

白河市立表郷小学校

四年 野田 優花
下郷町立江川小学校
六年 湯田美紗希

須賀川市立白方小学校

五年 半澤 妃奈
二本松市立原瀬小学校
四年 小野田恵弥

鏡石町立第二小学校

二年 高原 美穂
二年 添田 葉月
二年 鈴木菜々子
五年 吉田 裕貴

福島市立福島第一小学校

四年 小峯 百恵
五年 佐藤 康生
六年 松坂 紗礼

いわき市立中央台東小学校

六年 矢吹 駿介

棚倉町立高野小学校

五年 武藤 詩音

二本松市立二本松南小学校

六年 阿部 千晶
六年 野地 桃子

喜多方市立第一小学校

六年 山本 祐司
六年 伊関 誠

須賀川市立小塩江小学校

六年 橋本 悠衣
六年 相樂 恵里

いわき市立田人第二小学校

六年 橋本 愛菜

郡山市立安積第三小学校

六年 木町 桃香
六年 大友 優輝
六年 秋山 すず
六年 山ノ井雄喜

会津若松市立小金井小学校

四年 内田 芹菜
五年 五十嵐寛香
五年 角田 綸
五年 栗城日菜子
六年 斎藤 真白

矢祭町立下関河内小学校

四年 寺島 尚哉

郡山市立片平小学校

六年 中山 恵利
六年 長尾 一樹
六年 佐藤 怜央

須賀川市立大森小学校

六年 阿部奈々恵

郡山市立日和田小学校

六年 櫻田 裕美
六年 佐藤 志保
六年 高橋 成水
六年 高野 美悠
六年 阿部由紀乃

郡山市立桃見台小学校

一年 渡邊小百合
六年 助川 拓哉

玉川村立川辺小学校

六年 小針 愛加

西会津町立野沢小学校

六年 益山 喜気
六年 黒澤 惇朗

須賀川市立柏城小学校

三年 渡邊 碧
四年 角 侑太

五年 阿部 愛海
五年 石井 愛梨

福島市立福島第二中学校

一年 鈴木 悠矢
一年 大沼 卓登
三年 吉川 優紀
三年 齋藤 綾香
三年 門馬 李紗

福島市立蓮葉中学校

一年 加藤沙和子
二年 佐藤 拓弥
二年 加藤 真葵
二年 佐々木満里奈

下郷町立下郷中学校

一年 星 圭
三年 渡部かなみ

いわき市立磐崎中学校

一年 井坂 友美
一年 生田目 幸
一年 鈴木 絢花
一年 國井 麻里
二年 小野 舞子

一〇〇文字提案

「わたしのチョボラ」

「わたしのチョボラ」

最優秀・優秀・佳作 受賞者一覧

最優秀

桜の聖母学院小学校

五年 糠澤 美羽

郡山市立小原田小学校

二年 菅野 太陽

五年 三瓶 理貴

二本松市立原瀬小学校

四年 前田 健寿

本宮市立五百川小学校

五年 遠藤 葉

鏡石町立第二小学校

五年 小林 沙矢

優秀

須賀川市立小塩江小学校

五年 渡邊 実莉

伊達市立五十沢小学校

六年 佐藤 混大

伊達市立掛田小学校

五年 大橋 美紅

須賀川市立大東小学校

六年 関根 百花

須賀川市立稲田小学校

六年 鈴木 統河

六年 深谷 桂太

下郷町立江川小学校

六年 渡部 康平

白河市立表郷小学校

四年 齋須 友輔

玉川村立川辺小学校

六年 田子 大樹

矢祭町立下関内小学校

三年 永山ひかり

郡山市立小原田小学校

四年 橋本 梨水

四年 松本 好葉

会津若松市立小金井小学校

六年 伊藤 実桜

六年 安達 沙羅

いわき市立中央台東小学校

五年 矢吹 優介

六年 大峯 未夢

二本松市立原瀬小学校

四年 松本穂乃香

郡山市立桃見台小学校

四年 宮川 晴威

五年 岩木まどか

五年 國分マリア

玉川村立川辺小学校

六年 三瓶 紗香

六年 矢部 拓弥

須賀川市立第三小学校

四年 水野 伊菜

二本松市立二本松南小学校

六年 菅野 秀人

須賀川市立柏城小学校

三年 人見 大輔

新地町立福田小学校

一年 河上 遙

福島市立福島第二中学校

一年 押田 航

三年 安齊 友吾

三年 宮崎 和也

郡山市立日和田小学校

六年 星野 美聖

喜多方市立第二中学校

三年 平野なつみ

福島市立福島第一小学校

六年 菊地菜々子

六年 吉田 混弥

福島市立福島第一中学校

一年 塩沼 愛

本宮市立五百川小学校

三年 松本 遥希

六年 五十嵐すかい

佳作

桜の聖母学院小学校

六年 斎藤はづき

鏡石町立第二小学校

一年 小林 万朋

郡山市立小原田小学校

二年 渡辺 由樹

二年 土門 隼人

四年 和泉 沙彩

四年 阿部 大輝

五年 富塚 優

伊達市立五十沢小学校

六年 曳地佐津季

六年 岡崎 竜太

須賀川市立大東小学校

五年 根本 愛海

五年 山田 愛奈

六年 矢内 大智

須賀川市立稲田小学校

六年 有馬 佑

六年 佐藤 瑠璃

須賀川市立白方小学校

六年 関根 拓哉

二本松市立原瀬小学校

四年 佐藤 若名

二本松市立二本松南小学校

四年 佐藤 明奈

四年 石川 智彰

六年 高橋 杏奈

郡山市立片平小学校

三年 古川 裕也

西会津町立野沢小学校

六年 五十嵐斗宇也

六年 清野亜樹穂

矢祭町立関岡小学校

六年 金澤 竜臣

須賀川市立白方小学校

六年 関根 拓哉

二本松市立原瀬小学校

四年 佐藤 若名

二本松市立二本松南小学校

四年 佐藤 明奈

四年 石川 智彰

六年 高橋 杏奈

郡山市立安積第三小学校

五年 井上 大輝

五年 有馬 白竜

郡山市立日和田小学校

六年 大槻紗也夏
六年 矢崎 空斗

六年 本柳 里奈

郡山市立桃見台小学校

四年 高橋みなみ
五年 岡崎 希
六年 山田 宙
六年 渡邉 剛至
六年 小野崎くるみ

福島市立福島第一小学校

三年 佐藤 脩磨
三年 鈴木 千晶
六年 梅津 亜海
六年 本田 光

鏡石町立第二小学校

一年 根本 莉那
一年 佐久間 唯
一年 上杉 悠貴
二年 大壘明日真

須賀川市立柏城小学校

三年 小峠 隆也
五年 鈴木 飛来
六年 石田ほか

本宮市立五百川小学校

二年 遠藤 綺良
二年 菊地 理桜
二年 白田 悠生
二年 星 凜大
三年 遠藤 凌雅
三年 佐藤みなみ
四年 遠藤 香奈
四年 遠藤 蒼大
四年 小林 雄河
四年 國分萌々乃
四年 遠藤 翔真
四年 佐藤 蓮人
五年 渡邉 颯彦
五年 中野目弥生
五年 松崎 愛
五年 遠藤 龍世
五年 遠藤 巧人
六年 伊藤 想桜
六年 津守 潤弥

いわき市立内郷第三中学校

二年 猪狩 勇弥

福島市立蓮葉中学校

二年 山中 禎弥

喜多方市立第一小学校

五年 笠井みのり
六年 矢吹 拓也
六年 鈴木 秀紀
六年 渡邉 玲奈
六年 赤塚みな美

下郷町立下郷中学校

二年 五十嵐颯也

いわき市立磐崎中学校

二年 加藤 拓海
二年 北郷 晶紀
二年 長坂 善裕
三年 高橋 未那

会津若松市立小金井小学校

五年 白井 ゆめ
六年 金谷 苑美
六年 大塚 夢敬
六年 小林 傑
六年 岸 陽道
六年 藤 真央果

「わたしのチョボラ」最優秀

桜の聖母学院小学校 五年 糠澤 美羽

私のちょボラは「一日一善」です。毎日一つ良い事をする、なんと一年で三六五も良い事ができるのです。

とても小さな行いかもしれませんが、ゴミ拾いや整理整頓など、奉仕の心を大切にして実行していきたいです。

郡山市立小原田小学校 二年 菅野 太陽

ぼくは、なにをすればいいのかわかりません。おかあさんにそうだんしました。ぼくは、ペットボトルのキャップをあつめることにしました。そしてどこか出かけたるときにもってかえることにしました。

郡山市立小原田小学校 五年 三瓶 理貴

ぼくは、節電のためにこまめに電気をけすようにしています。ぼくは、ゲームをやらずぎで一日に二回じゅう電してるので一日一時間しかやりません。テレビもつけっぱなしなので、あまり見ないようにしています。

二本松市立原瀬小学校 四年 前田 健寿

ぼくは今、岳温泉の旅館にひなんしています。フロントの人がそうじをしている時に、手つだいをしています。フロントの人は、

「ありがとう」

と言ってくれます。

とってもうれしいので続けたいと思います。

本宮市立五百川小学校 五年 遠藤 栞

今日は、ひさい地のみなさんに、ペットボトルで、風りんを作りました。私は、ひさい地のみな様が「元気に笑顔に」なれるようにと願って、作りました。一生けん命作った風りんで心を、明るくしてほしいです。

鏡石町立第二小学校 五年 小林 沙矢

去年の夏、初めてボランティアを体験した。一人暮らしのお年よりの家を訪問して、お話ししたりおり紙をおったり似顔絵をかくてあげたら、とても喜んでくれた。ボランティアって、こんなに簡単でみんながうれしくなることなんだ。

「わたしのチョボラ」優秀

須賀川市立小塩江小学校 五年 渡邊 実莉

私は、大地しんどとてもこわい思いをしました。テレビを見ると福島県・宮城県・岩手県は津波で多くの人がなくなりました。みんなが早く安心して生活できるように、おこづかいから少しば金しました。

矢祭町立下関河内小学校 三年 永山ひかり

わたしは、毎日、家のまわりのゴミひろいをしています。ゴミひろいをしていると、なんだか楽しくなってやめられません。でもたばこがいっぱいすてがあるので、すてないでほしいなと思います。

玉川村立川辺小学校 六年 田子 大樹

ぼく達は、毎朝、学校でボランティアをしています。校舎内のそうじをしたり、おち葉をはいたり、校庭せいびをしています。ボランティアは学校のみんなのためにしています。ボランティアは、毎日、休みなく続きます。

白河市立表郷小学校 四年 齋須 友輔

ほかの先生が来る日、ぼくは食どうをそうじした。
ゆかをぞうきんでピカピカにした。
お話をしながらピカピカにした。
ちよっとのお手伝いでぼくの心もピカピカになった。

下郷町立江川小学校 六年 渡部 康平

ぼくのチョボラは、毎朝起きてやっているゴミ出し。毎朝ゴミ出ししているおばあちゃんの大変そうな姿を見て思いたった。毎日、ゴミは重いけれど、おばあちゃん的笑顔を見ると、ゴミが一気に軽くなる。

須賀川市立稲田小学校 六年 鈴木 統河

ぼくの考えているチョボラは、「毎日あいさつ」ボランティアです。あいさつは大人も子供もできるので、一人一人がやれば、町が明るくなっていいと思います。言われた方も、元気をもらえて、うれしいです。

須賀川市立稲田小学校 六年 深谷 桂太

ぼくが考えたチョボラは、ふれあいボランティアです。

地域の人と家の周りや道路のゴミなどを取りながら、近所や地域の人とふれあいます。近所や地域の人とふれあって、地域をきれいにしたいと思いました。

須賀川市立大東小学校 六年 関根 百花

私の家では、プルタブ、ペットボトルキャップを分別して集めています。ちよっとしたことだけど、体の不自由な人のための車イスになっていると思うと、改めて大切なんだなと思います。これからもチョボラを続けます。

伊達市立掛田小学校 五年 大橋 美紅

私の、「ちょボラ」は、係の仕事を手伝うことです。

いそがしそうな人がいたら真っ先にその人を手伝います。

その後は気持ち良くなって、もっと手伝いたくなるので、みんな「ちょボラ」しよう。

伊達市立五十沢小学校 六年 佐藤 滉大

ぼくがこの前歩道を歩いていたら、ゴミが落ちていた。ぼくはそれを無視していったが、後ろにいた人はゴミを拾った。ぼくは少しはずかしかった。だから、今度からはゴミが落ちてた

らちゃんと拾うようにしたい。

郡山市立小原田小学校 四年 橋本 梨水

わたしは、お年よりの方が荷物をいっぱい持っていたので「持ちますか。」と言いました。そしたら、「持ってくれるの、ありがとう。」と言ってくれました。その時はとてもうれしかったです。だからこれからもやりたいです。

郡山市立小原田小学校 四年 松本 好葉

わたしは、家で、ペットボトルのキャップを集めています。キャップを集めて、学校でのキャップ集めに、こんどは、さんかしたいです。そして、ペットボトルのキャップで、せかいの人にワクチンを、つくってあげたいです。

二本松市立原瀬小学校 四年 松本穂乃香

わたしがやっているチョボラは、そうじとゴミひろいです。今、わたしは、原発の問題で旅館にひなんしています。そうじやゴミひろいをする、気持ち

がいいからです。これからも、チョボラを続けていきたいです。

須賀川市立第三小学校 四年 水野 伊菜

私は、エコキャップやプルタブを集めています。一人一人の小さな力でも、多くの人の力が集まれば世界の子ども達に、ワクチンをとけたり車いすにかえられるので、ただのゴミにしないで集める事は大切なことだと思います。

二本松市立二本松南小学校 六年 菅野 秀人

ぼくは、帰り道、ときどきゴミを見つけてました。コンビニで買った食べ物のかくろや空きかなどです。五年生のけんと君がゴミを拾って持ち帰っていたので、ぼくもまねをし始めました。それがぼくの日課になっています。

新地町立福田小学校 一年 河上 遙

ぼらなんていあという、つなみやじしんのかたづけをおもいます。わたしは、いちねんせいなのでできません。

だから、みちにおちているごみをひろうとか、すいどうをすぐにしめてみずをたいせつにつかうことくらいします。

郡山市立日和田小学校 六年 星野 美聖

私はあいさつをするボランティアをしています。前に私があいさつをしたとき、笑顔で返してくれたのがうれしくて、笑顔をふやしたいと思ったからです。最初はあいさつを返してくれなかった人も、今は笑顔で返してくれます。

福島市立福島第一小学校 六年 菊地菜々子

私の学校では、一円玉募金を行っている。私は、一円でもいいから毎回募金しようと思う。だって、この一円が知らない人の何かの役に立って、その人が笑顔になってくれていたらと思うと、うれしくてたまらないから。

福島市立福島第二小学校 六年 吉田 晃弥

ぼくは、毎朝、七時二十分に学校に

来て、一番早く机の整理、教室のはきそうじをしています。机がそろっていて、さらに教室がきれいだと、気持ちよく勉強できて楽しい学校生活ができます。

本宮市立五百川小学校 三年 松本 遥希

今日、ひさいした方たちに手作りうちわを作りました。ぼくはメッセージを書きました。メッセージは「上を向いて歩こう」と書きました。絵はスイカとえ顔の人と夏の海です。ひさい者のみなさんが元気になりますように。

本宮市立五百川小学校 六年 五十嵐すかい

今、避難所にいる人は、何を思っているのだろう。きっと悲しんでいる人達もいるのだろう。その人達のために、うちわ、いす、ふうりんなどを作った。みんな心をこめて作ったので、喜んでくれるといいなと思う。

鏡石町立第二小学校 一年 小林 万朋

ワクチンをまっっているおともだちへ。

わたしは、いま、キャップあつめを、がんばっています。

おともだちのみんながびょうきになったら、とてもかなしいです。いっぱいあつめるからまってね。

会津若松市立小金井小学校 六年 伊藤 実桜

私は、自然を守るチョボラをしています。

元氣のない植物にでんぷんでできた肥料と水をあたえたり、おられた花は家に持ち帰り、工夫して、少しでも長生きできるように心がけています。私は森の守り人になりたいです。

会津若松市立小金井小学校 六年 安達 沙羅

私のチョボラは困っている人を助けること。人は助けて助けられて、たがいに支えあいながら生きています。助けるのって勇氣がいるけれど勇氣を出して助けてあげると、助けた人も助けられた人もどっちもうれしくなるんだよ。

郡山市立桃見台小学校 四年 宮川 晴威

ぼくの家では、空きかんのプルトップを集めています。

とてもたくさん集めると車いすと交換できる聞いたからです。小さくて集めるのは、大変ですが、車いすを必要としている人達に協力してあげたいです。

郡山市立桃見台小学校 五年 岩木まどか

そうじや草取りなどのとき、楽しそうにやっている、周りの人達も楽しくなることに気がつきました。

面倒な事や、いやな事でも、考え次第で楽しくなるから、みんなが楽しく出来ればいいなと思いました。

郡山市立桃見台小学校 五年 國分マリア

わたしの、ちょっとしたボランティアは、じゅくや習いごとの帰りに、じまな自転車をとけています。

これで、車や人が安全に通れるようにしています。これからも、がんばりたいです。

須賀川市立柏城小学校 三年 人見 大輔

ぼくは、大地しんがおきてから水が出なくなつてこまりました。水が出るようになった時、大事につかおうときめました。歯みがきの水はコップ一ぱいにしていきます。これからも家族みんなで水のせつやくをつづけます。

福島市立福島第二中学校 一年 押田 航

私が行っているチョコボラは、募金です。ぼくはコンビニに毎回募金しています。

避難している人はとても頑張っていると思うので復興に少しでも役に立てばいいと思います。

福島市立福島第二中学校 三年 安齊 友吾

僕のチョコットしたボランティアは、毎日ゴミを拾うことです。一日一個でも拾うと気持ちスッキリして、その日が楽しくなるんです。僕は、これからも毎日一個でもいいからゴミを拾いつづけていきたいと思っています。

福島市立福島第二中学校 三年 宮崎 和也

私のちょっとしたボランティアは、被災し避難した方に声をかけることです。私も被災者には変わりありませんが、自分よりもっと大変な状況の方はたくさんいるので、少しでも心の手助けができるようにしています。

喜多市立第二中学校 三年 平野なつみ

先日、大震災の被災者の方々がいる体育館に、手紙を書いて友達と持って行きました。手紙を見て下さった方々は、とても喜んでくださいました。支え合い、思いやりの大切さ。そんな当たり前の事を私は改めて感じました。

福島市立福島第一中学校 一年 塩沼 愛

私は、最近「つもり募金」をしています。「つもり募金」とは、ジュースを買ったつもりで、募金するという、すごくかんたんなボランティアの仕方です。自分が、少しがまんするだけで他の人が助かるのはいいことです。

「わたしのチョボラ」佳作

桜の聖母学院小学校

六年 斎藤はづき

三月十一日の大震災、とても大変な目にあい、ひ難所生活の人もいる。だから早くみんな、家に帰れるようになってほしい。私にもできる節水・節電を、家でも学校でもがんばりたい。力を合わせれば、早く復興できるだろう。

いわき市立中央台東小学校

五年 矢吹 優介

ぼくはそんなに役には立てないけど、節電節水に心がけたいです。このごろはいろんな人が水を出しっぱなしにしたり、テレビゲームをやっていたりして、たから、直してほしいです。ぼくもテレビゲームの時間を少なくして、節電節水に取り組みたいです。

いわき市立中央台東小学校

六年 大峯 未夢

わたしは、たきだしのお手伝いをしました。切った材料をわたりたり、体育館にいる人たちに割りばしをわたしました。たいたことはやらなかったけど、みんなが喜んでくれるとうれしいです。

玉川村立川辺小学校

六年 三瓶 紗香

六年生になると毎日やることが大変。私たちは、最高学年。私たちは、朝学校に来たら、ボランティアをしています。レィキかけや、草むしりをしています。六年生のボランティアは、今も続いている。

玉川村立川辺小学校

六年 矢部 拓弥

ぼくは、毎朝、学校に来たら、校門坂の落ち葉はきをしています。

川辺小のみんなが毎日、安全に登下校できるようにと思ってやっています。これからもみんなの安全のためにがんばって落葉はきをしていきます。

矢吹町立三神小学校

六年 福尾 奏

わたしは、あき缶のタブ集めをしています。

「沢山貯めると、車イスに交かんしてもらえから、友達のために集めている。」と友達のおばあちゃんが言った時から集めています。

毎日コツコツ貯めて目指せ、車イス。

須賀川市立福田小学校

六年 有馬 佑

私が行っているボランティアは、むだづかいを無くそうボランティアです。使っていない電気を消したり、使っていない水をとめたりしています。環境にもいいので、これからも、続けたいと思っています。

須賀川市立福田小学校

六年 佐藤 瑠璃

わたしは、チョボラをやっている、プルタブ集め、キャップ集めや、牛乳パックをリサイクルしたりしています。プルタブ集めは、車いすの募金になるのでやっています。

これからもボランティアを続けたいです。

須賀川市立大東小学校

五年 根本 愛海

私は、おばあちゃんがお家のことを大変そうにやっている姿をいつも見えています。それを見

ると、少しでも楽をしてほしい
と思って、部屋のおそうじなど
のお手伝いをしています。お手
伝いを続けていきたいです。

須賀川市立大東小学校

五年 山田 愛奈

わたしは、学校の行事で、地
域清掃をしています。少しし
かゴミが拾えませんが、私は、ほ
かの地域のゴミも拾い、どんど
んほかの地域をきれいにしてい
きたいです。その地域の自然を
きれいにしていきたいです。

須賀川市立大東小学校

六年 矢内 大智

ぼくのやっているチョボラは、
募金です。

お店などに置いてある募金箱
に、お金を入れます。なぜか入
れた後にいい気分になります。
総額を見て「この中に入ってい
るんだ。」と思うと、うれしくな
ります。

伊達市立五十沢小学校

六年 曳地佐津季

私は、買い物の帰りにごみや
カンなど拾っています。なぜな
ら、五十沢をきれいにしたいか
らです。だから、私は、ごみ拾
いをしています。

そして私はこれからも、ボラ
ンティアを続けていきたいです。

伊達市立五十沢小学校

六年 岡崎 竜太

学校では、ユニセフなどに募
金をしている。ぼくも毎年、募
金をしている。募金は、困った
人に使ってもらうから、ちょっ
としたボランティアだと思う。

一人一人が募金に協力すれば、
平和な世界になると思う。

郡山市立小原田小学校

二年 渡辺 由樹

わたしの考える「チョボラ」は、
学校のかえりみち、たまにおち
ているゴミをみかけます。

ふくろをもっていた時は、ゴ

ミをひろいながら、かえること
です。

おうちにかえてからゴミバコ
にすてます。

郡山市立小原田小学校

二年 土門 隼人

「水曜日のチョボラ」

ぼくたちは、水曜日にかんた
んせいそうをします。

きょうしつのゴミを二十こひ
ろうようにしています。みんな
でひろうときょうしつがきれい
になります。まい日チョボラを
します。

郡山市立小原田小学校

四年 和泉 沙彩

わたしのちょボラはお手つだ
いをする事です。でもただの
お手つだいではなく、一けん一
けん家を回りお手つだいをしま
す。前の日に、電話で予やくし
ます。何時何分か決めその日に
なったら、決まった時間に行き
ます。

郡山市立小原田小学校

四年 阿部 大輝

たまに買い物に行くと、ぼき
んばこを見つめます。

ぼくは、だれかのやくにたち
たいから、自分のさいふからお
金をだして箱にいれています。
そして、いいことしたねとお母
さんにほめられました。

郡山市立小原田小学校

五年 富塚 優

ぼくが、行っているチョボラ
は、ペットボトルのキャップを
あつめたり、コンビニなどにこ
まかいおつりを募金すること
です。ぼくのチョボラが困ってい
る人々に役立つといいなあと思
います。

郡山市立小原田小学校

五年 三瓶 奨真

ぼくは水をできるだけ節約し
ています。東日本大しん災でぼ
くの家は、一時期水が出なくなっ
てしまつて、初めて水の大切さ

がわかりました。それから、はみがきや顔洗いの時に水を出しっぱなしにしないようにしています。

郡山市立小原田小学校

六年 宗方 優

ぼくの家では、ペットボトルのキャップ、プルタブなどをあつめてリサイクルに出しています。なぜかという、ワクチンなどにかわるからです。

いっぱい集めて、色々な人たちに役立ってほしいです。

郡山市立小原田小学校

五年 津守 明

ぼくは、白い羽根募金、赤い羽根募金、緑の羽根募金をしています。ちよつとしたボランティアです。ひさいした人へのぼきんもしました。できるだけ、ちよつとしたお金がひさいした人にとどいてほしいと思います。

郡山市立片平小学校

三年 古川 裕也

ぼくは、ずっと前にお母さんと買い物に行つてたらゴミがあつてひろいました。タバコのゴミをどんどんひろいました。そして、お母さんに「そんなにゴミひろつてすごいいね。」と、ほめられました。

西会津町立野沢小学校

六年 五十嵐斗宇也

ぼくの「ちょボラ活動」は、家で燃えるゴミ、燃えないゴミを分けています。ゴミ箱にゴミの種類を書いて、分けています。自分の部屋は、ベットの横に燃えるゴミ、反対側に燃えないゴミ用のゴミ箱があります。

西会津町立野沢小学校

六年 清野亜樹穂

私は、家でちょボラをしています。それは、あたりまえな事

ですが、必要ではない電気を消すことです。その他にも、えんぴつや消しゴムは、最後の最後まで使っていることです。ちょボラでも少しは、良い活動になると 생각합니다。

矢祭町立岡岡小学校

六年 金澤 竜臣

今、ぼくが、やっているチョボラは、節水節電です。東日本大震災で、十五%の節電、節水を目標にしていると聞き、少しでも協力したいと思い、これを始めました。

須賀川市立白方小学校

六年 関根 拓哉

ぼくの、小さなボランティアも、いくつもつみかさなつて大きなボランティアになるのかな。どんなに小さいボランティアでも、何度も何度もやってれば、大きなボランティアになるから、あきらめずにやろう。ボランティアを。

二本松市立原瀬小学校

四年 佐藤 若名

シルバーカーをおしているおばあさんがいました。わたしは、おばあさんのためにとびらを開けてあげました。

「ありがとう」

と、おばあさんが言ってくれました。心の中がとてもあたたかくなりました。

二本松市立二本松南小学校

六年 高橋 杏奈

近所に住む人たちに毎朝、「おはよう」と声をかけられます。あいさつをされるとうれししい、元気になります。

だから、わたしもあいさつをして、「あいさつの輪」を広げていきたいです。

二本松市立二本松南小学校

四年 佐藤 明奈

「小さなことでも」

ハミガキするときにコップに水をくむ。こんな小さなことで

も、節水になる。こんな小さなことでも、みんなのために。一人がやれば小さな節水、みんながやれば大きな節水。

二本松市立二本松南小学校

四年 石川 智章

ぼくには、落ちているゴミを進んで拾う習慣があります。ぼくは、他人の役に立とうと、なぜか自然に拾ってしまいます。これからも、続けていきたいです。

郡山市立安積第三小学校

五年 井上 大輝

今、東日本大地震で被災者がたくさんいます。ぼくもその中の一人です。

けれどニュースを見ると、もっと深く被害にあわれている人もいます。そんな人達に、「だいたいようぶ。」と声をかけたいです。

郡山市立安積第三小学校

五年 有馬 白竜

ぼくは、秋になると公園の、

落葉ひろいをやっています。ぼくは、仲間がいます。それはぼくがよびかけた五人のうち二人です。でもあとから二人まより、大きくなって落葉ひろいをやりました。落葉は、肥料にしました。

郡山市立日和田小学校

六年 大槻紗也夏

私は、人と話すというだけで出来ることがボランティアだと思ふ。

例えば、つらいことがあったりして、落ちこんでいる人を少しでも楽にしてあげることができれば、それがちよつとしたボランティアになる。

郡山市立日和田小学校

六年 矢崎 空斗

両手に荷物を持ちドアの前にいたおばあさん。ぼくは急いでかけ寄りドアを開けた。

「ありがとうね。」

と、にっこり笑顔で答えてくれた。ぼくもうれしくなった。

またあの笑顔を見たいと思つた。

福島市立福島第一小学校

三年 佐藤 脩磨

お母さんのおなかの中には、あかちゃんがあります。お母さんのおなかがだんだん大きくなってきたので、重いにもつはぼくがもちます。おふろそうじもぼくがやります。お手つだいをするとお母さんがよろこぶのでうれしいです。

福島市立福島第一小学校

三年 鈴木 千晶

わたしは、朝、ちいきの人に、きちんとあいさつしようと思つています。あいさつをすると、とても楽しい気分になります。あいさつをするのには、ドキドキしてゆうきがあるけど、ゆうきを出して、言っていきたいと思つています。

福島市立福島第一小学校

六年 梅津 亜海

私達第一小学校はJRC活動がとてもさかんな学校です。

毎週木曜日には一円玉募金、ボトルキャップ回収があり、私は、人の笑顔のため、みんなの幸せのためにこれからも続けていきたいです。

福島市立福島第一小学校

六年 本田 光

ぼくは、毎日休み時間の後、ボールが片付けるところにちゃんと片付けてあるか確かめてから、体育館をでます。

二階のギャラリーやあちらこちらにボールが転がっていることがあるので、これからも続けていきたいです。

本宮市立五百川小学校

六年 佐藤サツキ

ひまわり班の友達と、カレンダーを作りました。折り紙で栗と柿を折ったり、絵をかいたり

して作りました。

これから暑くなるので、体に
気をつけてほしいです。このカ
レンダーをもらった人に、喜ん
でほしいです。

本宮市立五百川小学校

四年 遠藤 翔真

ひまわり班で、カレンダーを
作りました。栗とぶどうとさつ
まいもの絵をかって、九月のカ
レンダーを心をこめて作りまし
た。

このカレンダーをもらった人
が、ぼくたちの絵を見て、元氣
になってほしいです。

本宮市立五百川小学校

四年 佐藤 蓮人

ひまわり班で、うちわを作り
ました。うちわに、うさぎと犬
とペンギンをかきました。

このうちわはすずしいので、
使ってください。氣もちよくな
りますので、ぜひ使ってください
い。みんながすずしくなってほ
しいです。

本宮市立五百川小学校

二年 遠藤 綺良

わたしは、ボランティアかつ
どうでうちわ作りをしました。

ひなんじょでいつもあついく
らしをしている人のためにがん
ばってつくりました。

ひなんじょにいる人がすずし
くくらせるようにのります。

本宮市立五百川小学校

二年 菊地 理桜

わたしは、ボランティアかつ
どうで、うちわを作りました。
みけねこと、うさぎの色ぬりを
しました。上の学年のおねえさ
んといっしょうけんめい心をこ
めてつくりました。ひなんじょ
ですずしくくらししてもらいた
い

本宮市立五百川小学校

二年 白田 悠生

ぼくは、ボランティアかつど
うで、うちわを作りました。
ひなんしている人のために

いっしょうけんめいに作りまし
た。

ほうしゃせんがこわくてまど
をあけられなくてもこのうちわ
ですずしくしてください。

本宮市立五百川小学校

二年 星 凜大

ぼくは、ひなんじょの人たち
に、いすを作りました。

はんで牛にゆうバックをあつ
めて、どの大きさがいいかすわ
てみたりして、いっしょうけん
めい作りしました。ひなんじょで
こしがいたいとき、すわってほ
しいです。

本宮市立五百川小学校

三年 遠藤 凌雅

ぼくは、ひさいちのためにう
ちわを作りました。思ったこと
は、ひさいちの人たちにえがお
がもどってほしいです。ぼくた
ちが、こころをこめて作ったや
つで、元氣になってほしいです。
がんばってほしいです。

本宮市立五百川小学校

三年 佐藤みなみ

わたしは、ボランティアでカ
レンダーを作りました。心をこ
めていてねいに作りました。

それがひなんしている人たち
に少しでも役立つようなカレン
ダーを作りました。ひさいして
いる人たちによるこんでほしい
です。

本宮市立五百川小学校

四年 遠藤 香奈

今日は、ひなん所にいる方が、
熱中しようでたおれたりしない
ようにうちわを作りました。ひ
なん所にいる人が体に氣をつけ
てほしいので元氣が出るよう
に、心をこめてメッセージを書
きました。

本宮市立五百川小学校

四年 遠藤 蒼大

ぼくは、うちわを作りました。
ひなん所にいる方達が、すずし
くなるように、ていねいに作り

ました。

ひなん所では、不便な事が多いと思いますが、ぼくの作ったうちわで、少しでもすずしくなれば、嬉しいですよ。

本宮市立五百川小学校

四年 小林 雄河

ぼくは、ボランティア活動でうちわ作りをしました。うちにメッセージや絵をかいいたり、折り紙をはったりしました。

ひなん所のみなさんが元気な笑顔になるように、一生けん命作りました。

本宮市立五百川小学校

四年 國分萌々乃

わたしたちの班は、ひさい地へ送る風りんを作りました。

ペットボトルにすずをつけて、ペンでぬった、エコ風りんです。すずのいい音がひびきました。すこしでもすずしい気分になつてほしいなと思います。

本宮市立五百川小学校

五年 渡邊 颯彦

六月十五日に、ひ災者のためのボランティア活動を班で行いました。ぼくの班は牛乳パックでオセロを作りました。ひ災者の人達に喜んでもらえるように心をこめて作りました。これからボランティア活動をしたいです。

本宮市立五百川小学校

五年 中野目弥生

六月十四日に、チョコットボランティアをした。ボランティアは人と人との絆を作ってくれる。私は、その大切な役目をはたしてくれる風鈴を作った。作るのはいへんだけど、出来上がるのうれしい、これがきっと絆。

本宮市立五百川小学校

五年 松崎 愛

今日のボランティア活動で、うちわを作った。夏らしい、青

や黄色を使い、スタンプをおしたり、ぼかしたり、一年生を手伝ったりした。ひさい者の方々に、暑さに負けない、すずしい風が届くといいなあと思った。

本宮市立五百川小学校

五年 遠藤 龍世

ボランティア活動で、うちわを作りました。ぼくは、夏の暑さに負けないような絵をかきました。心の中で「ひ災者の方が喜ぶよううちわを作りたい。」と考えながら作りました。喜んで使ってほしいと思います。

本宮市立五百川小学校

五年 遠藤 巧人

夏に向けて被災地の人達のために手作りうちわを作りました。ぼくは一年生と海の絵を書きました。一年生も一生けん命がんばったのでぼくも負けないようにがんばりました。少しでも役に立てばいいなと思います。

本宮市立五百川小学校

六年 伊藤 想桜

「みんな笑ってくれるかな」その一心でイスを作った。牛乳パックのイスだけど、丈夫にこわれないように。一つ一つ手をぬかずていねいに。そう、みんなで声をかけ合って出きた手作りのイス。喜んでくれるといいな。

本宮市立五百川小学校

六年 津守 潤弥

ボランティア活動では、今回は手作りのものを作りました。避難している方にさしあげるプレゼントなので、心をこめて作りました。物だけでなく、優しい言葉も書きました。避難している方に、喜んでもらえると思います。

本宮市立五百川小学校

六年 本柳 里奈

私の班は、うちわを作った。被災者の人達のために喜んでもらうために一生けん命に作った。

ほんの少しでも笑顔になっても
らうために一生けん命に作った。
夏らしいうちわができた。笑顔
がある毎日を過ごしてほしい。

本宮市立五百川小学校

六年 伊藤 葉月

避難所の方のために風鈴を
作った。避難所の人々の心が少
しでもいやされるようにと思い
ながら作った。

自分の家を失った人や、帰れ
ない人がいる中で、ぼくたちは、
ふつうの生活をしていることを、
大切にしたい。

本宮市立五百川小学校

六年 遠藤そよか

避難所の方のためにうちわを
作った。このうちわで、少しま
も悲しい思い出をふき飛ばして
ほしい。

私達には、小さな事しか出来
ないけれど、その小さな事で、
たくさんの方が笑顔になってく
れたらうれしい。

本宮市立五百川小学校

六年 津守 智未

避難所の方のためにうちわを
作った。みんなで分担して絵や
メッセージに心をこめて作った。
一年生もがんばって作ってくれ
た。

避難所の方に夏の暑さも暗い
気持ちもこのうちわでふきとば
してほしいなと思った。

鏡石町立第二小学校

一年 根本 莉那

がっこうでひまわりのたねを
まきました。

ひまわりがいさいたらうれし
いし、ほうしゃのうでよこれた
つちもきれいにしてくれます。

だからわたしは、まいとしひ
まわりをたくさんそだてたいと
おもいます。

鏡石町立第二小学校

一年 佐久間 唯

あるみかんやべつとぼとるの
きやつぶをあつめています。

あつめたあるみかんやべつと
ぼとるのきやつぶはひとのやく
にたつんだとおしえてもらいま
した。うれしくてこころがほっ
とわらいました。

鏡石町立第二小学校

一年 上杉 悠貴

ぼくは、おてつだいをすると
たまにおこづかいをもらいます。

このまえ、ぼきんをしました。

おてつだいをして、もらった
おかねがまただれかのやくに
たっているのかな。

鏡石町立第二小学校

二年 大鹽明日真

ぼくは、ひなんじよでゴミあ
つめをしました。あきかんをた
くさんあつめました。

少しでもみんなのためになり
たかったから。

「えらいね。ありがとう。」

ぼくは、とつてもうれしかっ
たです。

鏡石町立第二小学校

三年 熊田 拓実

家でエコ生活について話をし
ました。

○せんたくのすずぎは、一回に
する。

○電気のむだづかいはしない。

○水はたくさん出さない。

もっといろんなエコを考えて
いきたい。

鏡石町立第二小学校

四年 根本 珠璃

私が今、お母さんと挑戦して
いる事はカンのプルタブ集めで
す。おじいちゃんが使っていた
車いすは、ドラムカン一つたま
ると、買えるそうです。今はも
う使う事はなくなりましたた
けど、使いたい人のために集め
ます。

鏡石町立第二小学校

四年 小坂橋奈月

一年に何度かゴミ拾いをして
いる。公民館からぐるーっと一

周して、ゴミを拾った。

だれかがやると、みんなやる。地球にやさしいゴミ拾い。

電気を消すこと、キャップを集めること、みんな地球にやさしい。

鏡石町立第二小学校

五年 吉田 雄大

ぼくは、アルミカン・ペットボトルのリサイクルをして、世界中の子ども達に、えん筆・消しゴム・ノートなどを、あげられるようにしたいです。勉強したくてもできない。リサイクルをして、世界中の子ども達に勉強を。

喜多方市立第一小学校

五年 笠井みのり

わたしたちのボランティアは、三つあります。

一つ目は、「休み時間は電気を消す」です。

二つ目は、「委員会で見回りをする」です。

三つ目は、「委員会で空きかんをつぶす」です。

三つのことをみんなで守っていききたい。

喜多方市立第一小学校

六年 矢吹 拓也

ぼくたちのまわりにはちかくの公園をきれいにしています。朝はやく起きて、一生けん命やってくれる人たちがいます。その中にぼくもいるのもっとちょよボラをやっていききたいです。

喜多方市立第一小学校

六年 鈴木 秀紀

前に、学校の帰りにぐうぜん、家の近くの公園の前を通ると、そこに、たくさんのおかしのゴミが落ちていました。ポイ捨てです。

そこで、友達と協力して、拾い集めて、公園をきれいにしました。気持ち良かったです。

喜多方市立第一小学校

六年 渡邊 玲奈

わたしの、ちょボラとは、六

年生では、必ずやる朝の清掃活動です。わたしは、四年生の水道場のそうじです。なので、四年生や、先生方が使う時、「いつも、きれ〜い。」と、笑みがこぼれるよう毎日きれいにしたいです。

喜多方市立第一小学校

六年 赤塚みな美

私は毎日、朝の活動をやっていきます。初めは「めんどくさい」と思っていたけど、やっていくうちに先生がたに、「いつもありがとう」と言われるのがうれしくなり、これからはがんばろうと思いました。がんばります。

会津若松市立小金井小学校

五年 白井 ゆめ

「ありがとう」って人に言われると、なんだかうれしい。だから私もみんなに、ありがとうって言われるようにがんばっています。いつか私のチョボラが伝わって、日本中が笑顔でつまれるように、ずっと、願っています。

会津若松市立小金井小学校

六年 金谷 苑美

わたしは、いろいろな場所の水道の水を止めています。最近では、地球温暖化などのえいきょうで、とても暑くなっているのので、少しでもエコになることをしようと思って、水が出ていたら止めようと心がけています。

会津若松市立小金井小学校

六年 大塚 夢敬

ぼくは、買い物をして、こまかいおつりが出た時は義援金として募金しています。それで、今避難している人を少しでも助けられたらいいなと思っていきます。ほかには、避難している人にいろいろな物を寄付できればいいと思います。

会津若松市立小金井小学校

六年 小林 傑

僕の小さなボランティアは、避難されて来た方々に、義援金を寄付したり、自転車で、会津

ドームに行き、飲料水、かんづめ、灯油など、生活に大切な物をひ難されて来た方々にわたした。これが僕のチョボラです。

会津若松市立小金井小学校

六年 岸 陽道

ぼくは、アパートに住んでいます。

最近、アパートの周りにゴミがすてられています。だから土曜日の朝いつもより早く起きて、お母さんとゴミひろいをやっています。だから家の周りが最近きれいになりました。

会津若松市立小金井小学校

六年 藤 真央果

電車の中でお年よりに席をゆずってあげたら、笑顔で「ありがとうございます」と言われました。電車をおりる時そのお年よりが私の手をギュッてにぎってききました。小さなしわしわの手でも、力強くてあったかかったです。

郡山市立桃見台小学校

四年 高橋みなみ

ボランティアで
ごみをひろった

地面が

ゆっくりと

そして

やさしく

ほほえんだ

郡山市立桃見台小学校

五年 岡崎 希

毎年、夏休みに山形のおばあちゃん家に行くと、必ず草取りをします。初めは暑いし、つかれるし、大変だなと思ったけど、草を取った所がきれいになったのを見たり、「ありがとう」と言われて、気持ちよくなります。

郡山市立桃見台小学校

六年 山田 宙

ぼくのチョットしたボランティアはあいさつです。毎朝、学校に行く時や帰り道、地域の人にあいさつをします。元気よ

くあいさつをすると、相手も気持ちよく返してくれます。地域の方を元気にするのがボランティアです。

郡山市立桃見台小学校

六年 渡邊 剛至

ぼくとぼくの家族はゴミ捨て場をきれいに掃除しています。カラスがゴミをぐちゃぐちゃにしたり、ゴミの分別が、きちんとできていなかったりするからです。ゴミ捨て場がきれいになると、心もすっきりします。

郡山市立桃見台小学校

六年 小野崎くるみ

私は、ボランティアが大好きです。みんなのためにいいことをすると、うれしくなってきました。ごみ拾いは、地域がきれいになってとてもすみやすい地域になると思います。これからも、ボランティアを続けたいです。

須賀川市立柏城小学校

三年 小峠 隆也

ぼくが必ずやりたいボランティアは、困っている友だちをたすけてあげることです。いじめとかはぜったいいやなことだし、一人でも多くの友だちがえがおで生活してほしいです。友だちを大切にします。

須賀川市立柏城小学校

五年 鈴木 飛来

ぼくは、相手の人と気持ちがつながるボランティアをしたいです。言葉はとても大切です。何でもいいと思います。相手に気持ち伝わり「ありがとう。」と言われるボランティアを自分なりに見つけて行動していきたいです。

須賀川市立柏城小学校

六年 石田ほのか

「エコバック持ったか。」と、私はいつも母に言う。今、日本を助けるために。でも、私のし

ている事は、意味がないかもしれない。だけど、この事を日本のみんながやると、とても大きな力になる。つくろうよ、すてきな国を。

いわき市立内郷第三中学校

二年 猪狩 勇弥

私のちょボラ。それは募金。手軽にできて、役にたつ。たった一円でも、みんなが一円ずつ募金すれば、大きなお金になって、困っている人に支援ができる。それを考えると、協力したくなる。今後も続けていきたい。

福島市立蓮葉中学校

二年 山中 禎弥

僕が行っているちょボラは、道ばたに落ちているゴミを拾うことです。この小さなボランティアでも周りの人が気持ち良く過ごせることを願い、一人一人の未来が明るくなれるように願いながらちょボラをしています。

下郷町立下郷中学校

二年 五十嵐 颯也

ぼくのチョボラは、ゴミ拾いです。駅や家の中などを拾っています。弥五島で、ゴミを分類、あきカンやペットボトルを拾って専用ゴミ箱にいれたりしました。家の中では、弟のオムツを拾ってオムツ専用のゴミ箱にいらしています。

いわき市立磐崎中学校

二年 加藤 拓海

僕は、少しでも人のためになりたいなあと思って、家でペットボトルのキャップをあつめています。今は約570個。これからも、もっと集めて、多くの人々にワクチンを届けられるようにがんばります。

いわき市立磐崎中学校

二年 北郷 晶紀

わたしが行っているちょこつとボランティアは、ペットボトルのキャップ回収をして、業者

に送り、ワクチンにすることです。そのために、キャップの仕分けが忙しく、大変ですが、こういう事を続けていきたいです。

いわき市立磐崎中学校

二年 長坂 善裕

私は、最近ペットボトルのふたを集めています。理由はふたを800個集めるとワクチンができ、めぐまれない子どもたちに届いて、病気などの予防ができるからです。私は今後、一生懸命その取り組みに努めたいです。

いわき市立磐崎中学校

三年 高橋 末那

私のチョボらは、ペットボトルのキャップ集めです。キャップは集めれば集めるほどお金になり、みんなの役に立つ事ができるので私は、どんどん集めたいと思います。みんなの役に立てれば嬉しいので続けていきます。

「わたしのチョボラ」入選

いわき市立中央台東小学校

六年 上遠野栞理

玉川村立川辺小学校

六年 矢部 大貴

矢吹町立三神小学校

六年 菅野 歩夢
六年 三瓶 智輝

棚倉町立高野小学校

六年 大谷 一倅

須賀川市立稲田小学校

六年 境田 圭
六年 斎藤 理央
六年 常松 颯
六年 有馬 彩華

須賀川市立大東小学校

五年 安田 綾夏

伊達市立五十沢小学校

五年 佐藤 七海

郡山市立小原田小学校

五年 五十嵐千恵
五年 岸 唯翔
六年 吉田 涼真
六年 熊谷 祐人

西会津町立野沢小学校

六年 伊藤 凧香
六年 鈴木 香穂
六年 大山 玲奈

矢祭町立関岡小学校

三年 古張 慶

須賀川市立白方小学校

五年 安藤 真央

二本松市立原瀬小学校

五年 渡邊 杏奈

郡山市立安積第三小学校

六年 渡邊 悠太
六年 村上 皓
六年 宗像 優香

六年 遠藤 令奈

六年 長谷川 龍
六年 岡崎 楓花

新地町立福田小学校

六年 斎藤奈津未

郡山市立日和田小学校

六年 今泉 道也
六年 橋本 拓実
六年 小林 茉由

福島市立福島第一小学校

一年 佐々木 董

三年 山口 柊人
四年 深澤 美穂
四年 菅野 光
四年 大槻 優太
五年 吉田 雅弥
六年 高野 恭輔
六年 菅野 稜馬

本宮市立五百川小学校

二年 渡邊かれん

喜多方市立第一小学校

二年 大島 愛梨
六年 大内 奈那
六年 桑原 美羽

五年 小林 瑠香

五年 石塚 千晴
六年 外島 直哉
六年 伊関 萌未
六年 樋口 博

会津若松市立小金井小学校

五年 高瀬 莉里
五年 工 陸
六年 島影 尚史
六年 赤城 梨華

郡山市立桃見台小学校

四年 安田 凧沙
五年 柳沼 龍成

須賀川市立柏城小学校

三年 小野ひなた
三年 瀬谷 愛梨

福島市立福島第二中学校

三年 穴戸 和真
三年 石山 剣マキシム

「わたしのチョボラ」入選

三年 安部 瑠莉

喜多方市立第二中学校

三年 渡部 葉月

福島市立蓬萊中学校

一年 古戸希良楽

下郷町立下郷中学校

二年 渡部 愛星

いわき市立磐崎中学校

一年 中田 美咲

一年 吉田 優希

二年 坂路 浩美

二年 池野 聖健

一〇〇文字提案

「〇〇さんのすばらしいところ」

「〇〇さんのすばらしいところ」
最優秀・優秀・佳作 受賞者一覧

最優秀

須賀川市立大東小学校

六年 江藤 もも

伊達市立掛田小学校

五年 大橋 怜実

伊達市立五十沢小学校

二年 引地 遙南

郡山市立安積第三小学校

六年 瀬川 真帆

福島市立福島第一小学校

一年 永井 直矢

鏡石町立第二小学校

一年 小幡 成明

郡山市立桃見台小学校

五年 小松佑梨子

須賀川市立柏城小学校

四年 新井 春菜

六年 佐藤 優花

優秀

須賀川市立小塩江小学校

六年 吉田 丞

須賀川市立大森小学校

六年 関根 優香

伊達市立掛田小学校

一年 山口 菜摘

伊達市立五十沢小学校

二年 遠藤 明奈

二年 岡崎 安

郡山市立片平小学校

六年 田中 誠恒

二本松市立二本松南小学校

六年 杉山 開

郡山市立安積第三小学校

六年 宗像 康誠

六年 橋本 太智

六年 七海 佳以

新地町立福田小学校

二年 大須賀明恵

四年 大須賀愛依

六年 大槻菜奈子

福島市立福島第一小学校

三年 高橋 拓光

鏡石町立第二小学校

二年 斎田 小晴

二年 小山田拓海

五年 村上 菜悠

喜多方市立第一小学校

六年 若菜 詩歩

六年 森 美夕紀

六年 河口 将也

六年 佐藤 芽衣

会津若松市立小金井小学校

五年 押部 明斗

六年 佐藤 望生

郡山市立桃見台小学校

一年 関根 果歩

四年 佐藤 琴巴

須賀川市立柏城小学校

二年 吉田 芽生

二年 富塚 美涼

六年 矢内ひらり

六年 野崎 未来

福島市立福島第二中学校

一年 長森 潤也

福島市立蓬萊中学校

二年 塩谷ひかる

下郷町立下郷中学校

二年 山口 羽奈

いわき市立磐崎中学校

一年 武藤 甲斐

桜の聖母学院小学校

二年 加藤 実茜

いわき市立中央台東小学校

六年 加藤まどか

いわき市立中央台北小学校

六年 鶴沼 詩織

須賀川市立大森小学校

六年 小平 莉奈

玉川村立川辺小学校

三年 三瓶 愛佳

矢吹町立三神小学校

六年 蛭田 湧人

須賀川市立大東小学校

六年 宗形 歩起

伊達市立掛田小学校

五年 引地みなみ

伊達市立五十沢小学校

二年 菅野 琉空

郡山市立片平小学校

五年 渡辺 健寛

檜枝岐村立檜枝岐小学校

五年 星 高峰

二本松市立原瀬小学校

二年 藤田 未羽

四年 近藤 隼斗

二本松市立二本松南小学校

四年 野村 幸音

六年 鈴木 彩英

郡山市立安積第三小学校

五年 武藤 成美

六年 鈴木 博行

六年 鶴見 拓哉

新地町立福田小学校

一年 佐藤 政樹

三年 佐藤 峻馬

六年 志筑 友奈

郡山市立日和田小学校

六年 音羽 梨沙

六年 畠 颯汰

六年 音羽 梨沙

福島市立福島第一小学校

三年 山口 柊人

五年 佐藤 未来

五年 酒井 智哉

五年 星 春花

五年 佐藤 理菜

五年 岡崎香菜子

六年 菅野 稜馬

六年 遠藤 彩都

「〇〇さんのすばらしいところ」受賞者一覧

鏡石町立第二小学校

一年 大河原想士

五年 中山 健太

五年 根本 綾介

三年 小山 陽汰

喜多方市立第一中学校

三年 宇津味祐平

喜多方市立第一小学校

六年 安藤 隼

六年 岩橋 千聖

福島市立蓬萊中学校

一年 目黒 大貴

会津若松市立小金井小学校

五年 佐藤 裕理

下郷町立下郷中学校

二年 室井 崇

二年 沖村 泰輝

三年 五十嵐桂香

郡山市立桃見台小学校

一年 菅野 綾乃

四年 佐久間玲旺

四年 高橋 千夏

六年 齋藤 夏希

六年 小松莉依子

六年 熊田 るか

いわき市立磐崎中学校

二年 篠原 郁美

須賀川市立柏城小学校

四年 佐藤 未羽

五年 遠藤 諒貴

六年 有馬 水生

六年 安田 滉

福島市立福島第二中学校

一年 丹野 佑磨

二年 鈴木千恵子

二年 鈴木 遇介

「〇〇さんのすばらしいところ」最優秀

須賀川市立大東小学校 六年 江藤 もも

私がすばらしいと思う人は、お母さんです。

お母さんは、仕事帰りであつかれていても、私の話を笑顔で聞いてくれます。

私も、人の話をしっかり聞ける心に余裕のある人間になりたいと思います。

伊達市立掛田小学校 五年 大橋 怜実

いつも不思議に思うこと。お母さんの手にぎったおにぎ

りは、やさしい味がして、いくつでも食べられる。

「ねえ、お母さん、とてもおいしいねえ。」

「それはね、ビタミン愛入りだからよ。」

お母さんは笑つてた。

伊達市立五十沢小学校 二年 引地 遙南

わたしがあんくんの後ろにならんたら、

「前に行つていいよ。」

と、ゆづつてくれました。

わたしもあんくんのまねをして、

「どうぞ。」

と言つたらいい気もちになりました。

郡山市立安積第三小学校 六年 瀬川 真帆

私のひいおじいちゃんは、今八十二才です。どんなに足やこしが痛くても、毎日のように、畑や田んぼの仕事をがんばっています。

ひいおじいちゃんの育てて作つたお米は世界一おいしいです。そんな、ひいおじいちゃんを私はそんけいしています。

福島市立福島第一小学校 一年 永井 直矢

あべたくやくんは、あったかことばをつかってしゃべります。ぼくはときどきちくちくことばをつかうときがあるから、つかわないようになりたいです。あったかことばをつかうと、ほんとにうれしいきもちになります。

鏡石町立第二小学校 一年 小幡 成明

まいにちいっしょにがっこうにいくおねえさんいつもありがとうございます。ぼくがおそいときもまってくれます。ばすののりかたもおしえてくれました。ぼくもみんなにやさしくしたいです。

須賀川市立柏城小学校 四年 新井 春菜

わたしのお母さんのすばらしいところは、わたしが、かくしごとやわるいことをしたりすると、顔を見ただけでわかるところです。話を聞いてくれたり、おこられたりするけどかいいつします。そんなお母さんが大好きです。

須賀川市立柏城小学校 六年 佐藤 優花

東日本大震災があつて、断水してしまいました。でも、お母さんは、ちゃんと水をくみに行ったり、病院で仕事をしたりしていました。私も、大変なことがあつても、やることはやれる人になりたいと思いました。

郡山市立桃見台小学校 五年 小松佑梨子

おばあちゃんのお手伝いを、いとこのなっちゃんはイヤがらない。どんな時でも、いつも

「うん、いいよ。」

と、笑顔で返事をする。

聞いているわたしも、笑顔になる。

なっちゃんの返事が、みんなを笑顔にする。

「〇〇さんのすばらしいところ」優秀

須賀川市立小塩江小学校 六年 吉田 丞

ぼくは、避難所の様子をテレビで見た。そしたら、みんな笑顔だった。両親をなくした人だって笑顔だった。家を失った人だって笑顔だった。

ぼくは、勇気をもらった。くよくよせずに前向きにがんばろう。

須賀川市立大森小学校 六年 関根 優香

私は水泳が苦手。五十メートルに挑戦している時、クラスみんなは、プールサイドから大きな声で応援してくれた。泳ぎきった時みんながかけよってきて、「やったねー」と喜んでいて。私のクラスは最高だ。

伊達市立掛田小学校 一年 山口 菜摘

たいちさんがろうかのぬれているところを五かしょもふいていました。すすんでふいていて、えらいなあとおもいました。わたしもこぼれているところをふいたことがあります。いいことしたなとおもいました。

伊達市立掛田小学校 六年 齋藤 柚希

朝の通学路、そこにはいつも同じ顔がある。雨の日も、風の日も、夏の暑い日も、笑顔で、あいさつしてくれる。そして、私達の安全を守ってくれる交通指導員さんに、いつか、「ありがとう。」を、伝えたい。

伊達市立五十沢小学校 二年 遠藤 明奈

妹はおრიこうさん。

あいさつがじょうず。

バイバイって手をふる。

きれいずき。

じ分ではをみがくし、

わたしにはブラシを

わたしてくれる。

いっしょにピアノをひいたりおどったりもできるよ。すごいでしょ。

伊達市立五十沢小学校 二年 岡崎 安

りくくんは、

ずこうがとくい。

紙ねん土のねこ。

はこで作った鳥。

画用紙にいた友だち。

みんな生きてる。

りくくんは

にこにこわらって

ねこや鳥や友だちと

あそびながら作ってく。

郡山市立片平小学校 六年 田中 誠恒

いい所は、なんだろう。食事を作ってくれることかな。

それとも、そうじをしてくれることかな。

やっぱりお母さんのいい所は、やさしい所だ。

お母さん、大好き。

二本松市立二本松南小学校 六年 杉山 開

ぼくのおじいちゃんは、毎日散歩に行くとき必ずゴミ袋を持っていきます。三十分くらいで帰ってくるとお菓子の袋や空き缶でいっぱいになります。毎日続けている事は、すごいです。ぼくも見習いたいです。

郡山市立安積第三小学校 六年 宗像 康誠

ある日、道路に飛び出した上級生の人に、「右と左確認しないで、道路に飛び出しちゃだめなんだよ。」と注意している一年生がいた。当然その上級生は、

無視した。でも勇気を出して注意した一年生が、すばらしいと思った。

郡山市立安積第三小学校 六年 橋本 太智

東日本大震災の時つなみが来ていて、自分をぎせいにして、人々を高台にひなんするように呼びかけた消防士の人たちがすごいと思いました。ぼくも将来そういう自分より人のことを考える人になりたいです。

郡山市立安積第三小学校 六年 七海 佳以

公園で小さな子が飲み終わったジュースの缶を捨てて走って家に帰るのを見ました。ひろえばよかったのに気持ちと戦っているさいちゅうに、おばあさんがすぐにゴミ箱にすてたのを見ました。私もすぐにすてられる心を持ちたいです。

新地町立福田小学校 二年 大須賀萌恵

自えいたいさんは、すごいです。つ

なみの後をかたづけてくれて、おいしいごはんを作ってくれる。どんなじゅうきもうごかせるのにわたしたちともなかくしてくれる。つよくてやさしいみんなのヒーロー。

新地町立福田小学校 四年 大須賀愛依

私の住む町は、三月十一日に津波で大きな被害を受け、家を流されてしまった人がたくさんいる。みんなつらいけどがんばって生きようとする力強さを感じる。その笑顔がすばらしいと思う。私はみんなを応援し続ける。

新地町立福田小学校 六年 大槻菜奈子

お父さんのすばらしいところは、誰よりも家族のことを大切にして、私達を守ってくれるところです。大地震の時、どんなに遠い所からでも、学校に迎えに来てくれました。お父さんの姿を見た時の気持ちは忘れません。

福島市立福島第一小学校 三年 高橋 拓光

あんりちゃんは、しんさいでひなんしてぼくたちのクラスのなかまになりました。

あんりちゃんはいつも元気でにこにこしています。さびしいときもあると思います。でもぼくはわかりません。だからすばらしいです。

鏡石町立第二小学校 二年 斎田 小晴

彩さんのいいところ。ともだちに、いやなことをされて、きずついた時は、げましてくれる。

そんな時、わたしはいつも元気になる。ありがと、彩ちゃん。

ともだちっていいな。たいせつにしたいな。

鏡石町立第二小学校 二年 小山田 拓海

クラスで一ばんなきむしだったゆう作くんが、なくなかったよ。

マラソンの時、スタートしてすぐに、

ころんじやったけど、なかなかつた。ドッジボールでまけても、なかなかつた。すごいよね。

鏡石町立第二小学校 五年 村上 菜悠

みんなってすごい。まず、うんどうできる人がいて、頭の良い人がいて、絵がうまい人がいる。一人が一つ、他人の良い所、見つけたら、クラスの全員が良い所があるってこと。自分と他人の幸せ、見つけたら世界中の幸せ。

喜多市立第一小学校 六年 若菜 詩歩

私は、見守り隊の人達がすばらしいと思います。私達が学校に行く時に、毎日朝早くから私達のところを見回りをしています。私は見守り隊の人に感謝しています。私も大人になったらこういうことをしたいです。

喜多市立第一小学校 六年 森 美夕紀

わたしのクラスの女の子達は、みんな

なすごい。なぜかって？それは、転校生だったわたしに、ふつうに話しかけてくれたから。今度は、わたしも、他の人にそうできるかな？

喜多市立第一小学校 六年 河口 将也

ある人があいさつをする。そしてぼくもあいさつをする。さらに続けてみんながあいさつする。一番最初にあいさつしたあの人はすばらしいなあ。次の日から最初のあいさつはぼくとあの人になった。

喜多市立第一小学校 六年 佐藤 芽衣

弟のすごいところ。それは、あいさつが自分から出来るところ。まだ四さいなのに、

「あいさつしなさい。」

も言っていないのにやってくれる。自分はいいさつが少し苦手。お姉ちゃんなのに弟に負けた。負けてられない。

会津若松市立小金井小学校 五年 押部 明斗

ある日、コンビニにカードを買に行った時、友達を見かけました。その友達は、おかしを買ったおつりを、募金箱に入れていました。その行動を見て、心あたたかくなりました。そして、ぼくもお金を箱に入れました。

会津若松市立小金井小学校 六年 佐藤 望生

私は、那智さんがすばらしいと思います。

理由は、他のだれよりも気持ちを読み取るのが上手だからです。

だから、那智さんはすぐにだれかが落ちこんでいると心配してくれます。

私は、こんな那智さんを見習いたいです。

郡山市立桃見台小学校 一年 関根 果歩

いろはちゃんは、いつもすばらしいです。はしるときは、ぜんりよくではしって、いつも一いになります。どう

ぶつごっこでは、らっこさんもじょうずだよ。わたしもいろはちゃんにまけないようにがんばります。

郡山市立桃見台小学校 四年 佐藤 琴巴

お母さんが「そんなことしたらケガするよ」といったのに、私は「だいじょうぶ」といった。お母さんは「知らないよ。」といい、私は「いいよ」といった。ケガをしてしまった。でも一番早く来てくれたのがお母さんだった。

須賀川市立柏城小学校 二年 吉田 芽生

じえいたいさんのすばらしいところは人をたすけるところです。

ひがいにあった人をたすけたりたべものをはこんだりします。それからがれきのかたづけもしていました。わたしもこまっている人の力になりたいです。

須賀川市立柏城小学校 二年 富塚 美涼

おかあちゃんってりょうりができて

すごい。みずずも作ってみたい。お手つだいもしてみたい。おいしいおりょうりならって、すこしずつじょうずになりたい。いつかみずずが作っておかあちゃんといっしょにたべたいな。

須賀川市立柏城小学校 六年 矢内ひらり

かぜをひいて熱が出たら休むのが当たり前だと思っていた私。でもお父さんはちがう。休まないで仕事へ向かう。朝から晩まで手が休むことなく、お寿司をにぎり続けている。二十二年間ずっとがんばってきたすばらしい父。

須賀川市立柏城小学校 六年 野崎 未来

私の母は脳こうそく。「頭が痛い」といいながら、毎日午前中の仕事をしている。私達をちゃんと育ててくれる。当たり前のことかもしれないけれど、私はすごくうれしい。病気でもがんばる、そういう母はすごいと思う。

福島市立福島第二中学校 一年 長森 潤也

渡辺陸さんのすばらしいところは、初めて会った人に気軽に話しかけてくれ、友達になってくれることです。

渡辺陸さんのおかげで僕はクラスの人とよく話せるようになれました。ぼくはこのような人がいて幸いでした。

福島市立蓮葉中学校 二年 塩谷ひかる

さきさんのすばらしいところは、優しく、怒るべき時に怒ってくれるところです。私が勉強で解らないところを解りやすく教えてくれ、私が友だちとケンカした時怒ってくれます。私はそんなさきさんはすばらしいと思います。

下郷町立下郷中学校 二年 山口 羽奈

渡部萌生さんのすばらしいところは、こまっている時、いつでも助けてくれるところです。それは、人としてとてもすばらしい事なので私も見習っていききたいと思います。

いわき市立磐崎中学校 一年 武藤 甲斐

ぼくの友達のA君のすばらしい所は、何があっても絶対にあきらめないところです。A君は部活でも勉強でも絶対あきらめません。

ぼくもA君のすばらしい所を見習って日々の生活にいかしていきたいと思います。

「〇〇さんのすばらしいところ」佳作

桜の聖母学院小学校

二年 加藤 実茜

わたしのおとうさんは、よるかえってきて、つかれたかおをしていても、あさしごとに出かけます。すごいです。

みんなのことを考えてくれます。いつも、えがおでいてくれます。

そんな、おとうさんのようになりたいです。

いわき市立中央台東小学校

六年 加藤 まどか

わたしのおばあちゃんは、病気です。でもいつでも、どこでも笑顔でむかえてくれるし、自分よりわたしを、ゆう先してくれます。そんな、すばらしいおばあちゃんが、大好きです。これからも、長生きしてもらいたいです。

いわき市立中央台北小学校

六年 鵜沼 詩織

夏海さんのすばらしいところは、周りに流されず、自分の意見をしっかり持っているところ。しかし、なっ得したら、素直に認められるのもよいところです。人に知られずとも努力している姿は、見ていて元氣が出ます。

須賀川市立大森小学校

六年 小平 莉奈

いつも明るく元氣。でも、おっちょこちよいで泣き虫。そんな萌ちゃんが好きだ。何でも自分から進んで

「私、やります。」

って言う。失敗しても

「大丈夫、大丈夫！」

って受け流してくれる。萌ちゃんってすごい！

玉川村立川辺小学校

三年 三瓶 愛佳

わたしがすごいなと思っている人は、ひかるさんです。

ひかるさんは、いつも、四時くらいにおきて、自分でおべん当を作っているそうです。字も上手です。わたしも、ひかるさんみたいに上手になりたいです。

矢吹町立三神小学校

六年 蛭田 湧人

母は怒るとこわい

反省するまで怒り続ける

でも母が怒るのは

自分が悪いから

大人になって

同じ事をくり返さないようにするため

怒ってくれる事が

母のすばらしい所

須賀川市立大東小学校

六年 宗形 歩起

ぼくがすばらしいと思うのは、おじいちゃんです。おじいちゃん、どんなにつらいことや悲しいことがあっても、前向きに考えるし、人の悪口を言わないからです。ぼくは、おじいちゃん、のそんなところを見習いたいです。

伊達市立掛田小学校

五年 引地 みなみ

友達のいいところ、それは私が悪いことをした時にダメと、教えてくれること。前に私が道ばたにごみを捨ててしまったときに、近くにあった友達がダメだよと言ってくれた。悪いことはダメと教えてくれる。ありがとう。

伊達市立五十沢小学校

二年 菅野 琉空

のぞむくんのいいところは、
工作が上手なところだね。紙ね
ん土のへびは、かつこよかった
よ。

さんすうでは、けいさんがは
やいね。しんかんせんみたいに
はやくて、すごいなあ。

郡山市立片平小学校

五年 渡辺 健寛

ぼくの家族は、みんなやさし
い。家族で出かけたり遊んでく
れたりするからです。お母さん
が家事で大変なときは、ちやわ
ん洗いをみんなで手伝います。
家族で支え合っていくのは、大
切だと思いました。

檜枝岐村立檜枝岐小学校

五年 星 高峰

二千十一年東北で大地しんがあ
りました。こわかったです。そ
れから
数日たってたきだしの放送がな

がれてお兄ちゃんがたきだしに
行きました。ひさい地の人に必
死におむすびをにぎっているす
がたがかっこいいです。

二本松市立原瀬小学校

二年 藤田 未羽

けんとかんは何でも早いです。
はしるのも計さんも速いです。
いつも二人でこくばんふきをし
ます。こつを教えてもらったの
で、今では、すごくきれいにけ
しています。先生に氣もちがい
いねって、ほめられます。

二本松市立原瀬小学校

四年 近藤 隼斗

魁君のすばらしいところは、
書写の時間にみんながよごした
ごみ箱のよごれを洗っていたと
ころです。自分から進んでやっ
ているのですばらしいと思いま
した。ぼくも見習ってやってみ
ようと思いました。

二本松市立二本松南小学校

六年 鈴木 彩英

理音さんは、人を思いやる氣
持ちが大きい人です。私が誰か
とけんかすると仲直りのきつか
けをいつも理音さんがつくって
くれます。理音さんはきつとみ
んな仲良くしてほしいのだと思
います。そんな理音さんが大好
きです。

二本松市立二本松南小学校

四年 野村 幸音

わたしは、教室にゴミがおち
ているのを見てもむしをしてい
たけれど、友達がゴミを拾って
いたのを見て、わたしもちゃん
としようと思いました。

これからも見て見ぬふりをし
ないですつといいことをしたい
です。

郡山市立安積第三小学校

五年 武藤 成美

私が、お店のレジにならんで
いた時のこと。前のお姉さんは、

おつりをもらったら、東日本大
しんさいのぼ金箱に、全部おつ
りを入れてしまいました。もし
て、帰って行きました。私は、
こないいい人がいるんだと思
いました。

郡山市立安積第三小学校

六年 鈴木 博行

毎日ぼくが登校すると、雨の
日も、雪の日も、横断歩道に立っ
ているおじいさんがいます。そ
の人は毎日ぼくたちの、安全の
ため立っていてくれるので、かっ
こいいです。ぼくもそのような
大人になりたいです。

郡山市立安積第三小学校

六年 鶴見 拓哉

ぼくは、いつも登校している
と、おじさんがいつも土手の草
かりをしているのを見てとても
大変そうだなあと思います。け
ど町のためにやっているのです
ばらしいと思います。ぼくも町
のためにやりたいなあと思いま
す。

新地町立福田小学校

一年 佐藤 政樹

おにいちちゃんのすばらしいところは、みんなにやさしいところ。ぐあいかわるいと、うめぼしごはんをつくってそばでずっとみてくれます。とてもやさしくてそんないできるおにいちちゃんです。

新地町立福田小学校

三年 佐藤 峻馬

お父さんのすばらしいところは、地しん・つなみで流れてきたごみをかたづけたり、人をさがしたり、休みの日もしょうぼうの仕事をしています。

そんなお父さんが大好きです。そんなけいしています。

新地町立福田小学校

六年 志筑 友奈

いつも自分の意見をもって発表する友達。反対の意見を言われても、しっかり理由をつけて発言することができる。その友

達を見習って、私も自分の意見を積極的に発表したい。そして、自信をもって授業に取り組みたい。

郡山市立日和田小学校

六年 音羽 梨沙

私のおばあちゃんは今、七十五才です。とてもオシャレでじまんのおばあちゃんです。おばあちゃんは毎日一万歩歩くのが日課で週二回バウンドテニスをやっています。私もそんなおばあちゃんを見習いたいと思います。

郡山市立日和田小学校

六年 畠 颯汰

僕の祖父は、朝から暗くなるまで庭で植木の手入れをしている。たく山の植物の本を読んで育てている。だから、庭の植木は元氣だ。

僕も祖父のようになりたい。

郡山市立日和田小学校

六年 音羽 梨沙

学校からの帰り道、毎日ごみ拾いをしているおじいさんを見かけます。どんなに暑い日でも寒い日でも毎日かかさず見かけます。今度会ったら「いつもご苦労さまです。」と言いたいです。

福島市立福島第一小学校

三年 山口 柊人

しゅうまくんのいい所は、できない事をできるようにしようという気持ちです。ぼくはしゅうまくんから、あきらめずがんばる気持ちを教わりました。ぼくもしゅうまくんみたいになりたいです。

福島市立福島第一小学校

五年 佐藤 未来

わたしの友達のななさんは、毎朝、「おはよう！」

と元気に声をかけてくれます。そこがいいところです。その元

気な声を聞くと、わたしまで元氣になります。ななさんのいいところを、見習いたいです。

福島市立福島第一小学校

五年 酒井 智哉

ぼくが素晴らしいと思ってる人は、健斗君です。以前、ぼくが泣いている時に、泣き止むまでそばでなくさめてくれました。温かい気持ちになり、うれしかったです。今度はぼくが人に優しくしてあげたいと思います。

福島市立福島第一小学校

五年 星 春花

私は、東日本大震災で避難した時に、避難所で友達になった、れんちゃんがすばらしいと思いました。れんちゃんは、いつも笑顔でいます。本当はとても悲しいのに、表情を表していないのは、すばらしいと思いました。

福島市立福島第一小学校

五年 佐藤 理菜

春花さんは原町からひなんしてきた友達です。

春花さんは優しく、落ちてい
るごみを拾うなどのちょボラも
できる人です。

春花さんとの出会いに感謝し、
私も見習いたいと思います。

福島市立福島第一小学校

五年 岡崎香菜子

いつも私が登校してくると、
しょうこう口にくつがきれいに
ならんでいます。以前、校長先
生から「くつそろえ」の詩を聞
いて、その詩は、くつをそろえ
ると良い気もちになるというも
のです。本当なんだなあと思い
ました。

福島市立福島第一小学校

六年 菅野 稜馬

マンションの管理人さんのす
ごいところは、ぼくやマンショ
ンの住人が帰ってきたときに、

「おかえり」

いつも言ってくれるところで
す。ちょっとしたことだけど、
されると、とてもあったかくな
ります。

福島市立福島第一小学校

六年 遠藤 彩都

ぼくは、アパートから学校が
遠いので朝早くアパートを出る
のですが、いつも近所のおじさ
んが、「おはよう。」と声をかけ
てくれる。ぼくも「おはようご
ざいます。」と返す。何気ないこ
とだけどそれが一日のスタート
だ！

鏡石町立第二小学校

一年 大河原想士

ぼくのだいすきなゆうとくん。
ぼくとゆうとくんは、いちども
けんかをしたことがあります。
それは、ゆうとくんがやさしい
からです。ぼくもゆうとくんに、
やさしくしてずっとずっと、な
かよしのともだちでいたいです。

鏡石町立第二小学校

五年 中山 健太

ぼくは、友達が大好きです。
友達は、足の悪いぼくを助けて
くれます。そのかわり、友達が
困っているときは、ぼくが助け
てあげます。自然と支え合える
友達がいてぼくは幸せです。こ
れからもどんどん友達をふやし
ます。

鏡石町立第二小学校

五年 根本 綾介

ぼくには幼稚園からの親友が
います。その親友はぼくが悲し
い時にはなぐさめてくれて、嬉
しい時には一緒に喜んでくれる
大切な存在です。そんなすばら
しい友人に出会えて、ぼくは幸
せ者です。一生大切にしたいで
す。

喜多方市立第一小学校

六年 安藤 隼

ぼくは、悠斗君の心づかいに
おどろきました。地しんで喜多

方に一カ月過ごしていました。

お別れの時は、手紙をクラス
全員にくれました。一カ月だけ
で、この心づかいは、すばらし
いと思いました。

喜多方市立第一小学校

六年 岩橋 千聖

全てがすばらしいそんな人は
絶対にいない。でも一人一人得
意な所と、にがてな所、どうで
もないものがあって、それが生
きていくこと。一人一人が得意
なところをやれば一人一人がす
ごくすばらしい。

会津若松市立小金井小学校

五年 佐藤 裕理

四年の三学期に、お父さんの
仕事の関係で三重県へ引っこし
た親友の一輝君は、元気で頑張っ
ているのでしようか。毎週のよ
うに遊びに来てくれました。礼
ぎ正しく、時間も守るし、思い
やりの心を持っている人でした。

郡山市立桃見台小学校

一年 菅野 綾乃

わたしのおねえちゃんは六ねんせいです。とてもじがきれいです。わたしもいっぱいれんしゅうをして、きれいなじがかけるようになりたいです。

おねえちゃんといっしょだと、がっこうにくるのもたのしいよ。

郡山市立桃見台小学校

四年 佐久間玲旺

ぼくは気づきました。

おねえちゃんは、家のちゅう車場に落ちていた、ゴミを何にも言わずに拾って、ゴミ箱に入れました。ぼくはとても気持ちのいい心を持っているのだと思いました。ぼくもそんな心を持ちたいです。

郡山市立桃見台小学校

四年 高橋 千夏

私がそんけいしてる人は、みゆうさん。すすんで友達をたすけてあげられる。くばり物も、

すすんでてっだう。ほかにも、一人ぼっちの友達をさそってなかまにいれてあげている。そんなみゆうさんを私がたすけてあげるんだ。

郡山市立桃見台小学校

六年 齋藤 夏希

私の弟は何でも一生けん命取り組む。

そこまでしなくてもいいのにと思うけど、本当はうらやましい。

自分に無いところがあるから。だからたくさんけんかもする。でも、弟のそういうところは見習いたい。

郡山市立桃見台小学校

六年 小松莉依子

わたしの母は文句を言わない。

父におこられても、文句は言わない。

わたしが母だったらたえられないなあ。

わかった、母は父より強いんだ。だからすぐに許しちゃうんだ。

母は強い、すごいな。

郡山市立桃見台小学校

六年 熊田 るか

私の友達は、いろんな人と仲良く話せる。おしゃべりにまざりたそうなんがいると、すぐに声をかけてあげていて、とっても話しやすい。

私もそういう風になって、いろんな人と仲良くなりたいな。

須賀川市立柏城小学校

四年 佐藤 未羽

お父さんはとてもがんばりやだ。しんさいの時、毎日お仕事もいそがしいのに、家族のために朝早くならんで買い物に行ったり、自転車で重い水を何度も運んでくれた。あせをかいてがんばるお父さんの様に私もなりたい。

須賀川市立柏城小学校

五年 遠藤 諒貴

お父さんのすばらしいところは、仕事しているすがたです。

お父さんは屋根屋さんの仕事をしています。いつも高いところで作業しています。ぼくはそのすがたが好きです。

将来はお父さんのようになりたいです。

須賀川市立柏城小学校

六年 有馬 水生

母は、福島原発の問題があつてから、私に

「五日間ぐらいどこかにひなんしな。」

と言った。私は必死な母をふりはらった。でもまだ言っている。そんな母の、「子どもを守る」という気持ちは、すばらしいと思う。

須賀川市立柏城小学校

六年 安田 晃

ぼくのお母さんは、いつも、ぼくの相談に乗ってくれます。

お母さんは、いつも

「学校楽しかった？」

と聞きます。ぼくは、いつもうなずきます。学校の勉強で困っている事を考えてくれます。世界一のお母さんです。

福島市立福島第二中学校

一年 丹野 佑磨

ぼくはお父さんはすごいと思う。震災で被害を受けた地域を毎日まわっている。

急におきた地震でたくさんの家がこわれ、水が出なくなっただけでもあったが、お父さんは毎日がんばっている。ぼくの自慢できる人。

福島市立福島第二中学校

二年 鈴木千恵子

友紀乃さんのいい所は優しい所です。いつでも、どんな人に

でも優しくできます。また、悪いことをした時はいけないと言ってくれます。私は、そんな友紀乃さんのような人間になりたいです。

福島市立福島第二中学校

二年 鈴木 遥介

僕が直希君がすばらしいと思うところは、困っている人がいたら自分の出来ることをやるということです。

僕は困っている人がいても、すぐ実行には移せないのですが、僕も直希君のすばらしいところを見習いたいです。

福島市立福島第二中学校

三年 小山 陽汰

僕は、震災により、避難してきた、二年生の長森拓也君、一年生の長森潤也君が、いつも明るく過ごしていることがすばらしいと思います。心に傷をかかえているにも関わらず、何事にも一生懸命なのもすばらしいです。

喜多方市立第二中学校

三年 宇津味祐平

お父さんのすばらしいところは、仕事を休まずつかれたとか、言わず、がんばっているところが、すごいと思いました。あといろいろなところに、つれていってくださることもやさしいなっと思いました。

福島市立遠葉中学校

一年 目黒 大貴

ぼくの友達、知野君のすばらしいところは、いつもどんな事にも真剣なところです。悪い事は悪いとはっきり言える強さと、困っている人にすぐに声をかける優しいさも持っています。こんな友達がいれば、とてもうれしいです。

下郷町立下郷中学校

三年 五十嵐桂香

校長先生のすばらしいところは生徒のみんなと掃除してくれることです。とくに青い帽子を

かぶりながら毎日窓をきれいにふいてくれます。とても、とても掃除を手伝ってくれる優しい校長先生です。

下郷町立下郷中学校

二年 室井 崇

雅実君のすばらしいところは、だれにでも優しく接することです。なぜなら、落ち込んでいる人を一生懸命はげましている光景を何度もみかけたからです。

私は、こんな雅実君と友達になれてうれしいです。

下郷町立下郷中学校

二年 沖村 泰輝

希君のすばらしいところは、優しいところです。希君は、僕が失敗をして落ちこんでいる時、希君は僕のことを励ましてくれました。希君は、いつも明るく、友達も、元気づけてくれる、とてもすばらしい友達だと思います。

いわき市立磐崎中学校

二年 篠原 郁美

私は、いつも笑顔でいる清水美咲さんがすばらしいと思います。彼女は落ち込んだ私にかかさず笑顔と勇気をくれて励ましてくれました。私はその笑顔に何度も元気を貰いました。そんな美咲さんの笑顔が私は大好きです。

「〇〇さんのすばらしいところ」入選

桜の聖母学院小学校

二年 力丸 可歩
五年 高橋 未来
五年 佐久間奈菜
五年 高橋かれん

いわき市立中央台東小学校

五年 白土 真那
五年 比佐 雅

須賀川市立小塩江小学校

五年 相樂 佑真
五年 服部 皐

いわき市立中央台北小学校

六年 安斉 慎吾
六年 根本 航太
六年 佐藤 穂波
六年 松崎 未空

矢祭町立下関河内小学校

四年 立花 優美

須賀川市立大森小学校

六年 関根ひろ子

玉川村立川辺小学校

三年 三瓶 陸

白河市立表郷小学校

四年 松澤 優華

矢吹町立三神小学校

六年 三瓶 智輝
六年 小針 美夢

下郷町立江川小学校

六年 室井 海斗

棚倉町立高野小学校

六年 岩本 愛美

須賀川市立大東小学校

六年 山田 靖也
六年 佐藤 文香

伊達市立掛田小学校

二年 高木 夢遥

伊達市立五十沢小学校

一年 曳地 仙一
六年 一條 愛花

郡山市立片平小学校

三年 伊東 桃花
四年 伊東 維聖
五年 佐藤健太郎

五年 橋本 佳奈
六年 古川 絵梨
六年 菅野 龍

檜枝岐村立檜枝岐小学校

六年 安達 龍

矢祭町立関岡小学校

二年 石井 愛来
六年 丸山 将平

須賀川市立白方小学校

五年 坂本 奈月

二本松市立原瀬小学校

四年 鈴木 優生
五年 石川 莉乃
五年 竹内 颯音
六年 安田景太郎

須賀川市立第三小学校

四年 齋藤 里奈
四年 五十嵐海空

二本松市立二本松南小学校

六年 矢澤 晴輝

郡山市立安積第三小学校

五年 西條 真生
六年 渡部 花梨
六年 田中裕美子

新地町立福田小学校

二年 林 香花
三年 加藤 碧夏
五年 杉江 麗愛
六年 齋藤明日香

福島市立福島第一小学校

一年 常磐 詩織

一〇〇文字提案 「私の気づき」

「私の気づき」

最優秀・優秀・佳作 受賞者一覧

最優秀

須賀川市立大東小学校
六年 山口 来輝

須賀川市立大東小学校

六年 永山 慎也

二本松市立二本松南小学校

六年 鎌田 菜緒

優秀

郡山市立安積第三小学校
六年 酒井 紫帆

須賀川市立柏城小学校

三年 矢吹 美空

福島市立福島第一中学校

一年 佐藤 優衣

須賀川市立柏城小学校

四年 佐藤 佑唯

佳作

桜の聖母学院小学校

六年 三島 季鈴

須賀川市立稲田小学校

六年 和田 広都

「私の気づき」最優秀

須賀川市立大東小学校 六年 山口 来輝

ぼくは、今回の地しんで、多くの気づきがありました。それは、あたり前がいかに幸せかということです。水道から水が出る、温かい物を食べられる…自分がいかに日常にどんな感謝だったかと気づいた。その気づきは宝物です。

「私の気づき」優秀

郡山市立安積第三小学校 六年 酒井 紫帆

私は、登校班の班長です。私がいつも先に地域の人にあいさつをしますが、してくれません。考えてみたら、声が小さいことが分かりました。それで次の日から大きな声であいさつをしたら、してくれたのでよかったです。

須賀川市立柏城小学校 四年 佐藤 佑唯

三月の大震災の後、ぼくの家で水が二週間ぐらい出ませんでした。その時、ぼくは、いつも使っていた水がどんなに大切で、ふだんの生活でたくさんの水が使われていることがわかりました。これからは、水のおだづかいをしないようにしたいです。

「私の気づき」佳作

桜の聖母学院小学校

六年 三島 季鈴

私は市バスで登下校している。満席のときに、立ってつらそうにしているお年寄りの利用者もいる。私にできることはなんだろうか。自ら進んでゆずる。「どうぞ。」と声をかける。そうすれば、人の輪がより広がるだろう。

須賀川市立稲田小学校

六年 和田 広都

ぼくたちの学校には、いい人が周りにたくさんいます。例えば、笑わせたり、答えを教えてください、遊んでくれたり、友達がかげがえのないものです。ぼくは、人生の中で最も幸せにしてくれる人だと思います。

須賀川市立大東小学校

六年 永山 慎也

ぼくは、今回の地しんで、水が出なかったり、電気がつかなかったりして、とても不便な生活をしました。そして、ふつうにできていたことこそ、一番大切なことなのだと思います。

二本松市立二本松南小学校

六年 鎌田 菜緒

私は、東日本大震災を経験して、人々の絆と命の大切さに気づきました。自殺をする人がいますが、生きたくても生きられない人の思いを考えると、自殺はできないはずで。逃げないで生きることが、とても大切だと思います。

須賀川市立柏城小学校

三年 矢吹 美空

地しんの時、水が出なくなっ
てしまってもふべんでした。
水の大切さに気づきました。家
族みんなが言いました。「あたり
前につかっていた水がこんなに
もありがたかったんだ。」
と。かんしゃしてつかいたい
です。

福島市立福島第一中学校

一年 佐藤 優衣

三ヶ月前の東日本大震災。
みんながとても悲しくなった。
だけどみんなが悲しむと、亡く
なった人も悲しむよ。
だから、笑顔でいようよ。そし
たらみんなも笑顔になるから！

桜の聖母学院小学校

六年 中陳 遥香

須賀川市立大東小学校

五年 佐藤すみれ

郡山市立安積第三小学校

五年 高橋 美鈴
六年 佐藤 稜真

会津若松市立小金井小学校

五年 鈴木 博貴
五年 春日谷 唯

須賀川市立柏城小学校

三年 島津 龍星

福島市立福島第一中学校

一年 穴戸 菜穂

「私の気づき」入選

応募校一覧

応募校一覧

福島市立福島第一小学校
桜の聖母学院小学校
伊達市立五十沢小学校
伊達市立掛田小学校
二本松市立二本松南小学校
二本松市立原瀬小学校
本宮市立五百川小学校
郡山市立日和田小学校
郡山市立安積第三小学校
郡山市立片平小学校
郡山市立小原田小学校
郡山市立桃見台小学校
須賀川市立第三小学校
須賀川市立稲田小学校
須賀川市立小塩江小学校
須賀川市立柏城小学校
須賀川市立大東小学校
須賀川市立大森小学校
須賀川市立白方小学校
鏡石町立第二小学校
玉川村立川辺小学校

白河市立表郷小学校
矢吹町立三神小学校
棚倉町立高野小学校
矢祭町立下関河内小学校
矢祭町立関岡小学校
会津若松市立小金井小学校
喜多方市立第一小学校
西会津町立野沢小学校
下郷町立江川小学校
檜枝岐村立檜枝岐小学校
新地町立福田小学校
いわき市立中央台北小学校
いわき市立中央台東小学校
いわき市立田人第二小学校
福島市立福島第一中学校
福島市立福島第二中学校
福島市立蓬萊中学校
喜多方市立第二中学校
下郷町立下郷中学校
いわき市立内郷第三中学校
いわき市立磐崎中学校

福島県立須賀川高等学校

作品審査を終えて

青少年赤十字作品募集は、「青少年赤十字活動の活性化と意識の高揚を図るため」の試みとして取り組みはじめ、今年度で第六回となります。今年度募集した作品は、毎年募集している

詩「いのちの詩、愛の詩」
100文字提案として

- 「あたたかい言葉のプレゼント」
- 「わたしのチョボラ」
- 「〇〇さんのすばらしいところ」
- 「私の気づき」

作品審査会は、平成二十三年十月三日（月）に日赤福島県支部会議室で午前十時から始まり、長時間にもわたり熱心な審査が行われました。審査結果（入選者数）は表のとおりです。

	詩	100文字提案				その他
	いのちの詩	あたたかい言葉	わたしのチョボラ	すばらしいところ	私の気づき	
最優秀	14	7	6	9	1	0
優秀	34	22	33	34	2	0
佳作	81	46	96	58	6	0
入選	107	70	66	107	8	0
応募者数	応募校数	小学校35校 高等学校1校	中学校7校 計43校			
小学校	926	511	910	901	74	3
中学校	360	197	146	205	4	0
高等学校	3	1	0	0	0	0
計	1289	709	1056	1106	78	3

その中でいくつか気づいたことをまとめてみましたので、今後の参考にしてください。

◇ 詩（「いのちの詩」「愛の詩」）

三月の「東日本大震災」という未曾有の災害にあう中で、あらためて気づいた「命の大切さ」「人々の『愛』のすばらしさ」について表現された作品が多く応募されました。あらためて目の前のことと「いのち」や「愛」について結びつけた、より具体的な表現をした作品が多く見られました。

郡山市立片平小学校六年の鈴木美咲さんの作品は、あの日続いた大きなゆれの中でこれまでにない不安を感じていた時に、お母さんが「私の手をぎゅっとつないでくれた。」たったそのことで、その不安が解消させることができたことを表現しました。県内の児童生徒の皆さんも、同じような体験をされたのではないでしょうか。その中からあらためて「命」「母親の愛」の大切さ、すばらしさを感じたことでしょう。

福田小学校一年五十嵐美結さんの作品は、これまでとあまりにもかわってしまったふるさとの景色から何とかしようとする思いを表現しました。ふだんなら見られるはずのない「たんぼの中のおね、くるま」におどろき、その中に、津波に負けずにひっそりとけなげに咲いている「ひまわり」をみながら、自分たちも負けずにがんばろうと復興を願っている姿がよくあらわれておりました。

◇ 100文字提案

○ あたたかい言葉のプレゼント

このテーマはこの大震災を予期して設定したものではありませんが、応募期間がちょうどその後に当たり、このことを具体的に考えるよいきっかけとなったようです。

「あたたかい言葉」、それは「ありがとう」次いで多かったのは、被災者への「がんばれ、がんばって」という言葉でした。

特に目を引いたのは一般的なあたたかい言葉ではなく、個々の人に具体的にかけられた言葉でした。例えば、福田小学校一年鈴木啓行君の言葉です。今回の大震災で海に出られずさびしそうにして外を眺め

ている船乗りのおじいちゃんにかけた「おうちにはいろいろ」というやさしい言葉。多くのみなさんは、周りの人からもらった「あたたかい言葉」を表現していましたが、鈴木君は、自ら進んでこのあたたかい言葉をだいききなおじいちゃんに届けました。おじいちゃんはどうだけ元氣付けられたかしれませぬね。

○ わたしのチョボラ

応募作品の中にも何点ありましたが、「ボランティア」は、本来「人に言われて行うもの」「学校の授業や行事で行うもの」ではありません。「自らの思い」で実施するものです。

福田小一年河上さんの作品、大げさなことは出来ないけど、身の回りのことで、ちよつとしたことならできるのではないかという提案は、まさに「チョボラ」でした。

今回「わたしのチョボラ」で、書かれたものの多くは、これも大震災に関係した「節電節水への協力」でした。また、学校行事等での「ボランティア活動」「ペットボトル・アルミキャップ等のリサイクル」「お掃除・お手伝い」などが多くみられました。さらに、数は少なかったですが自分自身で気づいたことをもとに「思いやりボランティア」「笑顔・あいさつボランティア」といったのもありました。

中で、原瀬小学校四年前田さんは、自分自身が被災者として二本松に避難し、厳しい状況におかれているにもかかわらず、ホテルのフロントの仕事を手伝うボランティア活動をしたことを作品にしました。

さらに、福島第一小六年の吉田君のような「チョボラ」もいくつかありました。先生方も子どもたちが見えないところでこのような「チョボラ」をたくさんしていることに気づいていただけたら、本人たちもちよつぷりうれしいと思いました。よろしく願います。

○ ○○さんのすばらしいところ

私たちは、どうしてもつい自分のことを棚に上げて「人の欠点」ばかりに目がいき、それが原因で周りの人と仲良くなれないことが多いようです。

大東小六年江藤さん、掛田小五年大橋さん、柏城小四年新井さん、

六年佐藤さんは「お母さん」のことを、安積三小の瀬川君は「ひいおじいちゃん」のことなど、小学生は、家族の「すばらしいところ」をたくさんあげてくれました。中学生は、家族ではなく、周りのお友だちの中から「すばらしいところ」を見出し、表現したものが多く見られました。クラス全員でおたがいのすばらしいところを見つけあった学校もありました。

このようにおたがいが「すばらしいところを見出す」習慣がつけば、周りはどうにかわっていきけるのではないのでしょうか。ぜひ、ふだんからこのようなことを日記のようなものにまとめていってはどうでしょうか。

これからも他人に対しても自分自身に対しても「すばらしいところ」を見つけていってほしいと思います。

○ わたしの気づき

昨年度より、身近な「わたしの気づき」を課題として設定しました。やはり今回の大震災にみまわれて「気づいた」ことが多かったようです。

最優秀賞に選ばれた大東小六年の山口君は、「あたり前がいかに幸せか」「・・・自分が日常にいかにかん感だったか」と気づき、それを今回の自分自身の「宝物」にしたいと表現しました。多くの皆さんが同感されるのではないのでしょうか。

青少年赤十字の態度目標には、「気づき」「考え」「実行する」ということがあります。ぜひ、これからこの「気づき」を大事にしてほしいです。

「わたしのチョボラ」の鏡石二小五年小林さんは、「・・・してあげたらとても喜んでくれました。ボランティアってこんなにみんながうれしくなることなんだ」と気づき、「あたたかい言葉のプレゼント」福島二中三年武藤さんは、福祉体験の後で、「あなたに出会えてうれしい」という言葉をもらい「・・・こんな自分でも他人から感謝される人間と分かり、勇気がついた。」と表現しています。

このように「実行する」ことにより、さらに高い気持ちに「気づく」ことができた人もたくさんあります。このようにまず一歩ふみだし「実

行する」ことが大事です。ぜひ、「気づき」「考え」にとどまらないで、まず「実行」してみようではありませんか。期待します。

◇ お願い

○ みなさんが、この大震災に出会ったことは、言葉では表せないくらい不幸なことでした。しかし、今回のテーマのようなことの大切さについてあらためて深く見直すきっかけになったことは間違いのないと思います。ぜひ、このように表現したことやお友だちの作品を読んで感じたことを、これから生きていく上で、大いに生かしていただきたいと思います。

○ そのためにも、ぜひ、これらのすばらしい作品を、校内のあちこちに「掲示」したり、「朗読会を開催し作品を読み」あったりし、皆さんの思い、考えを共有する機会にしていいただければ幸いに思います。

○ 100文字以内であれば、指定された原稿用紙を何枚使ってもよいのですから、改行を効果的に使って表記してみると楽しく書けると思います。ぜひそのような工夫をして表現してみてください。

○ 全体的に高校生の応募が少ないので、残念です。ボランティアサービスを熱心に取り組むのも大切ですが、そのための精神を培うために、この作品応募を生かしてはどうでしょうか？来年度はたくさんのお応募を期待します。

この作品の応募期間は、学校において、東日本大震災そしてその後の放射線問題で、これまでにない対応にせまられた時期でありました。それにもかかわらず指導してくださった各学校の先生方に厚く感謝申し上げます。また、たくさんさんの作品を寄せてくれた児童生徒の皆さんに対しても、審査員一同心からお礼申し上げます。

今後とも、「気づき」「考え」「実行する」青少年赤十字態度目標のもと、今回の多くの作品の底を流れる「やさしさ・思いやり」を大切に、楽しく充実した学校生活や社会生活を送られますようお願い申し上げます。

審査委員一同

審査委員長（福島県青少年赤十字賛助奉仕団委員長） 小島 喜一

審査委員（赤十字指導講師・福島県青少年赤十字賛助奉仕団員）

五十嵐賢治 壹岐武熙 大浪政輝

大橋勝彌 小田長次 勝見五月

川田昌利 齋藤正寛 齋藤裕子

酒井紹雄 白石允宏 鈴木幸子

高村 劼 丹野 栄 長沼源治

藤田伸朔 安田悠子 米倉紀子

渡邊文勝

（日本赤十字社福島県支部）

参事監 齋藤武宜

総務課長兼組織振興課長 神野幸夫

ボランティア係長 石田政幸

嘱託 古川盛也 鶴沼秀雅 飯田樹里

